

第2次

伊豆市スポーツ推進計画

(2024～2033)



令和6年 3月
伊豆市教育委員会

目次

第1章 伊豆市スポーツ推進計画について 1

1. 計画策定の背景・目的 1
2. スポーツ推進の意義 2
3. 計画の位置づけ 3
4. 計画期間及び進捗管理 4
5. 計画の実現に向けた連携・協働体制 4

第2章 スポーツを取り巻く現状と課題 5

1. 社会情勢の変化 5
2. 伊豆市のスポーツにおける現状と課題 8

第3章 「スポーツのまち伊豆市」の実現に向けて 21

1. 基本方針 21
2. 目指す姿 21
3. 目標 21
4. 目標値 22
5. 体系図 23
6. スポーツ推進に向けた取組 24

参考資料 33

1. 用語解説 33
2. 市民アンケート調査結果 37
3. 伊豆市スポーツ推進審議会について 57

第1章 伊豆市スポーツ推進計画について

1. 計画策定の背景・目的

本市では、平成24年度に伊豆市スポーツ推進計画後期計画を策定し、「市民1スポーツの実現、成人の週1回以上のスポーツ実施率50%」を目標にスポーツ施策を推進してきました。この間、人口減少、伊豆ペロドロームでの東京2020大会自転車競技会場の開催成功、新型コロナウイルス感染症拡大からコロナ禍でのスポーツイベント開催など、市民を取り巻く環境は著しく変化しました。これらの背景を含め地域課題を解決し持続可能なまちの実現のため、令和3年に第2次伊豆市総合計画後期基本計画を策定し、『自然・歴史・文化が薫る誇りと活力に満ちた「伊豆半島の新機軸(クロスロード)」伊豆市』の実現に向けてスタートしています。本計画は、市民が地域で生涯にわたり日常的にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことで、スポーツ推進の満足度向上を図り伊豆市のまちづくりに資するスポーツ施策づくりを行うものです。

一方、スポーツに関する国の政策動向を見ると、令和3年度に策定された第3期スポーツ基本計画*をはじめ、スポーツ実施率の向上や女性活躍推進に関する政策、障がい者スポーツや学校体育・運動部活動に関する政策などが進められており、本市でも施策の体系化が必要となっています。

本市においても、市民のスポーツ実施率は減少傾向にあります。スポーツへの関心が低い傾向にある青年層、スポーツをする時間・余裕のない成年層、病気や体力の低下によりスポーツから遠ざかる高齢者層、新型コロナウイルス感染防止のためにスポーツをする機会が失われてしまった人など、今後更にスポーツ離れが進んでいくことも懸念されます。

また、生活習慣の変化により、がんや脳卒中、心臓病、糖尿病などの増加、経済的な問題や人間関係に起因する精神的な病も問題になるなど、ライフスタイルの多様化とともに健康被害や疾病リスクも変化している状況をふまえ、伊豆市では「健康いず21（第4次）計画」の策定を進めています。「健康いず21（第4次）計画」と連携しながら、生涯にわたりスポーツに親しむことにメリットを感じ、能動的に行える事業・体制を構築し、スポーツ実施率向上を目指します。

これらのスポーツを取り巻く現状と課題を整理し、第2次伊豆市スポーツ推進計画を策定しました。スポーツのまち伊豆市の実現を目指し、貴重なスポーツの財産を活用しつつ、課題解決に寄与するスポーツ施策を体系的に推進します。

2. スポーツ推進の意義

(1) スポーツの価値と可能性

スポーツに親しむことは、心身の健全育成や体力の向上、健康の維持・増進、楽しみや喜び、爽快感や達成感等の精神的な充足感の獲得につながり、他者を尊重する意識や協調性、自律心や公平さを尊ぶ態度、実践的な思考力や判断力を育むといった人格の形成にも大きな影響を与えます。

また、スポーツに親しむ人が増えることで、健康寿命*の延伸と医療・介護費の削減・抑制、多様性を認め合う意識の醸成、地域コミュニティの活性化、市民活力の創出、地域経済の活性化等の効果が期待できます。

このように、スポーツは個人として楽しさや喜びを得られるだけでなく、地域の課題解決に資する役割も期待できます。

(2) スポーツのとらえ方

スポーツ (sport) は、ラテン語で「気晴らしをする」、「楽しむ」、「遊ぶ」を意味する「deportare (デポルターレ)」に由来する単語とされています。この言葉が、古フランス語の「desport (デスポート)」を経て、現在の「sport」に至ったとされています。また、競技や種目の集合体を表現する際に用いられることが一般的な「sports」と異なり、「sport」は人類共通の文化としてのスポーツを意味する言葉としてとらえられています。

本計画では、市民がスポーツ (sport) をより身近なものとして楽しみ、人類共通の文化として親しむことができるように、スポーツの語源や「スポーツ基本法*」で示されている定義を踏まえ、スポーツの概念を幅広くとらえます。具体的には、勝敗や記録を競うものだけでなく、身体を動かす遊びやレクリエーション、散歩やウォーキング、健康づくり・介護予防のためのトレーニングや体操なども含め、目的を持ち自発的に楽しむ身体活動全てをスポーツとしてとらえます。

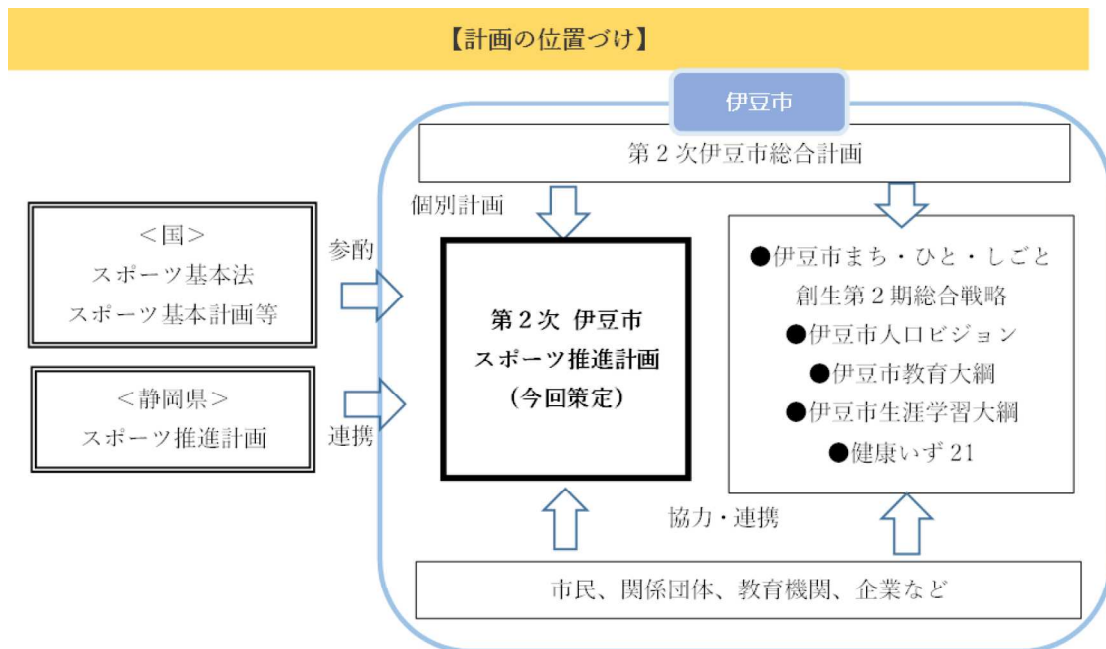
また、「する」スポーツ以外に、他者の競技を観戦する「観る」スポーツや、監督・コーチなどの指導者、大会の審判やスタッフなどとして参画する「支える」スポーツも、スポーツ活動の一つとしてとらえます。

3. 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条第1項に規定する「地方スポーツ推進計画」であり、本市がスポーツを推進する上で目指すべき施策の方向性や取組を体系的に示したものです。平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」に基づき、国の「第3期スポーツ基本計画」の目指す方向性や趣旨を参酌しながら、「伊豆市スポーツ推進審議会」での協議、スポーツ団体、令和5年度実施の市民アンケート結果等の意見を踏まえ策定しました。

また、「第2次伊豆市総合計画」との整合や、本市の健康福祉分野、観光商工分野、教育分野などの関連計画と連携します。

なお、平成24年度に策定した伊豆市スポーツ推進計画後期計画をふまえ、本計画を第2次計画とします。



4. 計画期間及び進捗管理

本計画は、国の第3期スポーツ基本計画が5年間の計画であることを踏まえ、10年先を見据えつつ、今後も予想される社会情勢やスポーツ政策動向の変化に的確に対応するため、令和6年度から令和15年度までの10年計画とします。本計画の目標の実現に向けて、体系化した施策及び取組が適切に実施できているかどうかを毎年度、各取組主体による実績と自己評価を確認し、進捗を管理します。

5. 計画の実現に向けた連携・協働体制

伊豆市は、本計画で定めた目標を達成するため、市民の皆様をはじめ、スポーツ推進委員や地域スポーツ団体*、各種競技団体、NPO法人伊豆市スポーツ協会（以下「市スポーツ協会」という）、学校等の教育機関、市の関連部局、民間企業、観光関連団体、保健医療関係団体と連携・協働して計画の実現を目指します。

第2章 スポーツを取り巻く現状と課題

1. 社会情勢の変化

伊豆市スポーツ推進計画後期計画が策定された平成24年度以降、スポーツ庁の新設とそれに伴う障がい者スポーツの厚生労働省からの移管、第2期スポーツ基本計画の策定など、新たなスポーツ政策が次々と展開されてきました。また、第2期計画が策定された平成29年度以降も、ラグビーワールドカップ2019™や東京2020大会等の国際的なスポーツ大会の開催、日本体育協会から日本スポーツ協会への名称変更など、スポーツに対する機運の醸成や認識の変化が生じています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、心身の健康づくりや人と人とのつながりの重要性を改めて認識するきっかけとなりました。

このような社会情勢の変化を受けて、スポーツを推進する意義や目的は、従来から認識されてきた心身の健康づくりや人格形成、競技力向上という枠を超え、人々の暮らしをより豊かにするもの、地域コミュニティの形成や共生社会*の実現、地域・経済の活性化に寄与するものとしても考えられるようになってきています。そのため、スポーツは個人と地域のどちらの視点においても、ますます欠かせない存在となっています。

また、世界共通の目標であるSDGs*については、日本においても達成に向けた取組を積極的に実施しています。スポーツは健康や教育、コミュニティ強化など、SDGsの達成に寄与する活動として考えられることから、スポーツ庁では、スポーツの力によるSDGsの達成に向けた取組を推進しています。

共生社会の実現や多様性と調和への関心がより一層高まる中、令和3年度に策定された第3期スポーツ基本計画では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すため、次の3つの視点が必要になるとされています。

- ①社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に対応するというスポーツを『つくる／はぐくむ』という視点。
- ②様々な立場・背景・特性を有した人・組織が『あつまり』、『ともに』活動し、『つながり』を感じながらスポーツに取り組める社会の実現を目指すという視点。
- ③性別、年齢、障害の有無、経済的事情、地域事情等にかかわらず、全ての人がスポーツにアクセスできるような社会の実現・機運の醸成を目指すという視点。

このように変化・充実しつつあるスポーツの意義を踏まえつつ、持続可能な社会の実現を目指すべく、社会情勢の変化を的確にとらえ、スポーツを推進していくことが求められています。

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の拡大により、運動不足による健康二次被害、スポーツに親しむ上で「新しい生活様式*」の対応の必要性、スポーツ施設の利用制限、学校運動部活動やスポーツ大会・イベントの延期・中止などが生じています。その影響もあり、成人における週1回以上のスポーツ実施率も感染拡大前（平成24年）よりも減少しており、スポーツをする機会の減少の影響は大きいものとなっています。

その後、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が「感染症5類」に移行したことにより、これまでの「新しい生活様式」に留意することなくスポーツイベントを開催できることとなりました。今後は更なるスポーツ推進に向けた施策を行う必要があります。

(2) 健康寿命の延伸と人生100年時代の到来

日本人の健康寿命は世界最高水準であり、静岡県健康寿命も国の平均に比べ長く、健康に暮らすことのできる方が多くなっています。こうした背景を受け、政府は「人生100年時代構想会議」を立ち上げ、幼少期から高齢者まで全ての人々が元気に活躍し続けることのできる社会の実現を目指しています。人生100年時代*の基盤は、一人ひとりの心身の健康であり、スポーツは市民の健康づくりや仲間づくりに寄与する活動として期待できます。

(3) 多様性を認め合うまちの実現

「共生社会」とは、障がいのある方をはじめ、配慮が必要な人々が積極的に参加・貢献していくことができる社会であり、国は、このような社会を目指すことを最も積極的に取り組むべき重要な課題ととらえています。スポーツにはジェンダー平等*をはじめとする幅広い社会課題の解決に寄与する力があると期待されています。

これからは、スポーツに親しむ場においても、性別、年齢、障がいの有無、国籍等の違いを超え、多様性を尊重し合うことが重要です。

(4) 東京2020大会のレガシー推進

令和3年には東京2020大会自転車競技大会が伊豆ベロドロームにて開催され、新型コロナウイルス感染症による1年延期の開催とともに、一部競技では安全・安心のため無観客での大会となりました。このような国際スポーツ大会を契機に海外チームとの交流、スポーツに対する機運の高まりなど、レガシー*を生かした取組が求められます。

(5) デジタル技術革新の進展

現在、ICT*、AI*（人工知能）、VR*（仮想現実）・AR*（拡張現実）などの技術開発が急速に進展しています。これらの技術は、新しい産業の創出・発展や企業の生産性向上のみならず、人々の働き方やライフスタイル、健康管理、教育など、市民の生活に関わるあらゆる分野での活用が期待されています。スポーツ分野においても、個人・法人を問わないトレーニング動画のオンライン配信や、VR・AR を活用した新たなスポーツなど、多様な楽しみ方の創出が期待できます。

また、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を意味するeスポーツ*についても、オリンピックの公式イベントが開催されるなど、注目が集まっています。

2. 伊豆市のスポーツにおける現状と課題

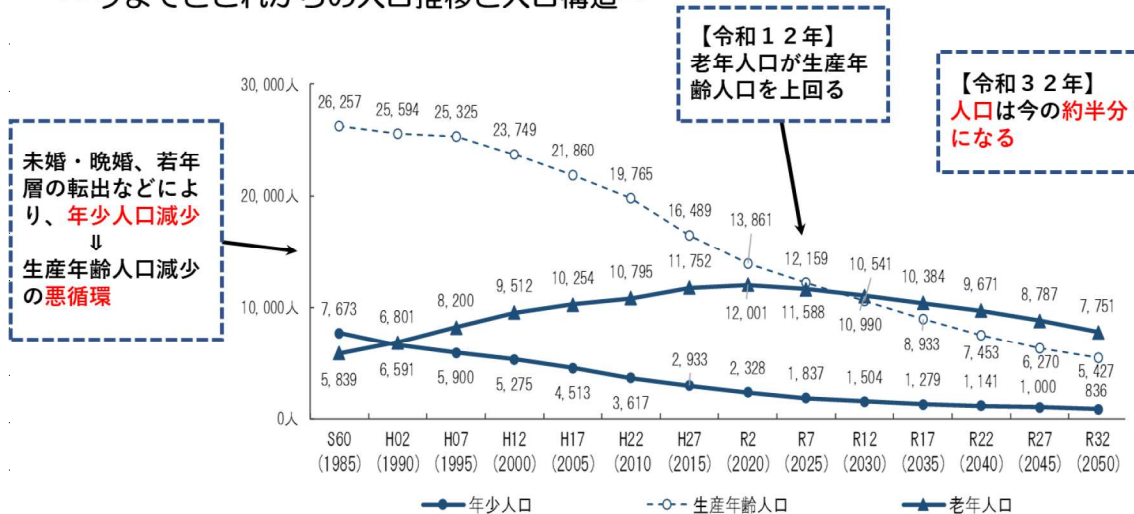
本市では、市民の「する」「みる」「ささえる」スポーツの向上を目指し、スポーツ実施状況等の現状を把握するため、平成24年度と令和5年度に市民を対象とした伊豆市スポーツ活動アンケート調査（以下「調査」）を実施しています。アンケート調査の結果をふまえて、「する」「みる」「ささえる」スポーツに関する本市の現状と課題を整理しました。

(1) 伊豆市の現状

(ア) 人口

本市では、2025年には高齢人口が生産年齢人口を上回ると予想されており、令和27年（2045年）では、人口は16,057人、高齢化率は5割以上が予想され、人口減少に歯止めはかかっていない状況です。将来にわたって持続可能な地域を維持するためにも、市民の心身の健康は必要不可欠なものであり、健康増進や魅力ある地域づくりの推進に寄与するスポーツ推進事業の実施は重要な役割を担うと考えられます。

～今までとこれからの人口推移と人口構造～



※年少人口・・・0-14歳
生産年齢人口・・・15-64歳
老年人口・・・65歳以上

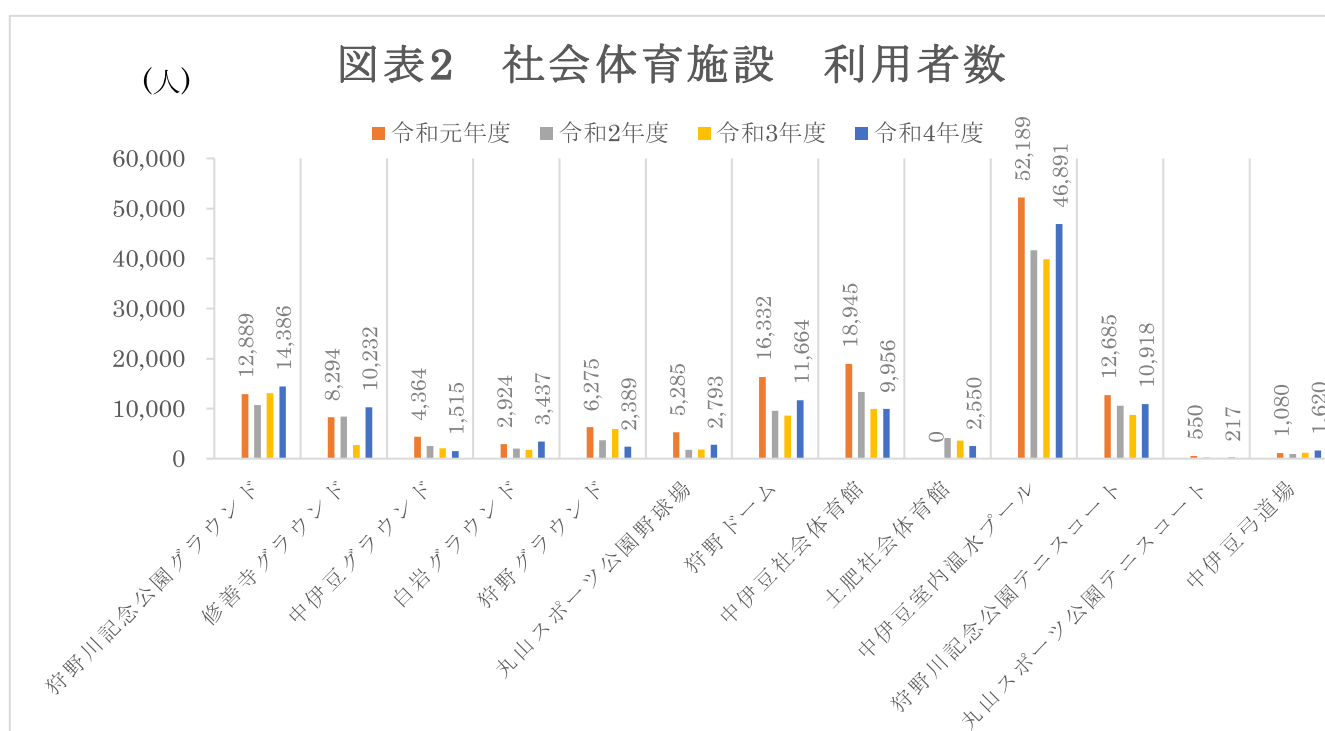
資料：国勢調査（各年10月1日時点）
R7以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による推計

出典：伊豆市資料

(イ) 社会体育施設、利用者数

市内には屋外（グラウンド 5・野球場 1・テニスコート 2）や屋内（体育館 3・室内温水プール 1）様々なスポーツ施設があります。平成 16 年度の伊豆市合併以降、他市と比べてスポーツ施設数は多い状況です。令和元年度から 4 年度の利用者推移をみると、各施設とも新型コロナウイルス感染症感染拡大前の令和元年度が最も多く、令和 4 年度に「新しい生活様式」が習慣付いた令和 4 年度に回復している状況となっています。

スポーツ施設の老朽化に対し、中伊豆室内温水プールは令和 6 年度に大規模改修工事を実施予定・狩野ドームは令和 5 年度に長寿命化計画を作成し、計画的な修繕・施設整備計画に基づき整備を行っていきます。



出典：伊豆市資料

(2) 市民のスポーツ活動

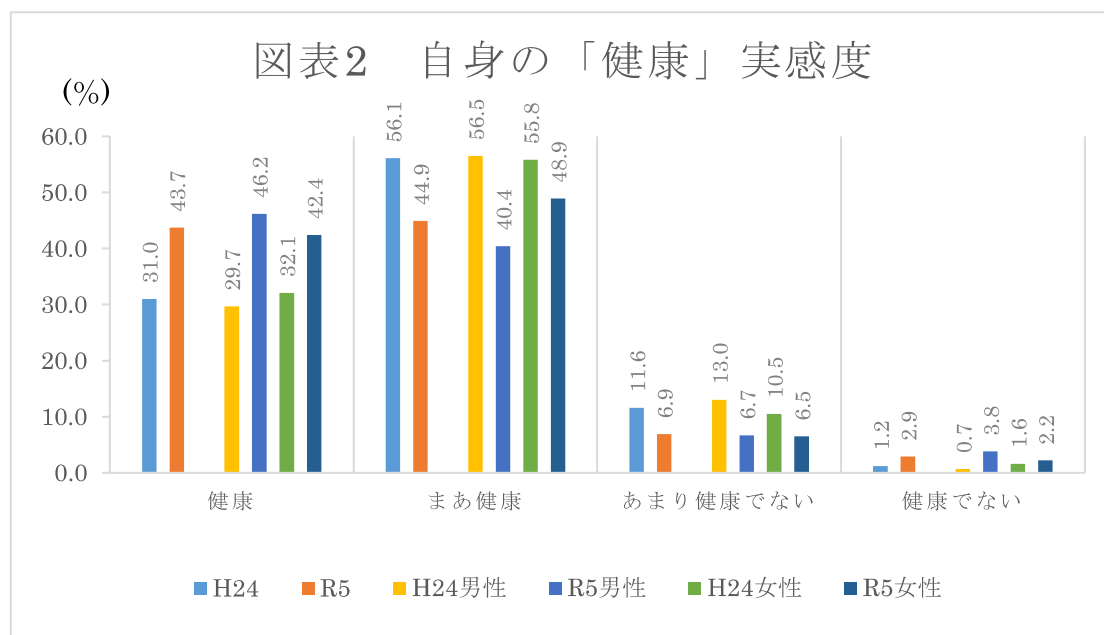
(ア) 成人のスポーツ活動

(A) 自身の「健康」実感度

自分は「健康*である」「まあ健康である」と感じている市民の割合は、平成 24 年は 87%・令和 5 年には 88.6%と高い結果となっており、日々の暮らしを比較的不安なく過ごしている成人が多いと考えられます。特に「健康である」と感じている市民の割合は、平成 24 年に比べ令和 5 年は 12.7%上昇しています。

一方、伊豆市は静岡県平均と比較してメタボリックシンドローム該当者、糖尿病、高血圧症有症者が高い割合にあります。また、健康アンケート*では「ストレス解消法がある人」や「相談できる人がいる人」の割合は減少傾向です。

『健康』の定義“肉体的・精神的・社会的の3つの側面において満たされた状態にある”ことを市民に共有するとともに、真に健康な市民を増やすためのスポーツ施策について検討・実施していく必要があります。



出典：伊豆市「伊豆市民スポーツアンケート」

(B) 大人のスポーツ実施率

—前計画の目標値—

『成人の週1回以上のスポーツ実施率：50%』

(a) 全体

成人における週1回以上のスポーツ実施率について10年間の経年変化をみると、平成24年の37.5%から令和5年度には28.6%と、8.9ポイント減少しており、本市の目標値50%からかなり低い結果となっています。特に女性は10年の間に12.8ポイントの減少となり、スポーツ離れが危惧されます。更に、スポーツを行わなかった人の理由は、「仕事が忙しい38%」「面倒だから14.1%」という結果からも、スポーツへの関心が低い傾向にあると考えられます。

運動習慣の定着による健康増進・介護予防は「健康寿命」の延伸に向けた取組のなかでも特に重要なものとなります。また、運動は生活習慣病予防・ストレス解消などの効果も期待できることから、幅広い年代を対象に健康福祉部局で実施している「ノルディックウォーキング教室」や「ウォーキング教室」などの事業をはじめ、市民がスポーツを行うことによる効果や楽しさを実感し、続けたいようなスポーツ事業の検討が必要です。

(b) 20～30代

20・30代の実施率は他の年代と比較すると、10年前と現在ともに低い値ですが、特に令和5年度の女性は全ての値の中でも最低値となっています。この年代は子育て・働き世代の方にあたり、仕事や妊娠・出産・育児など家庭の用事が忙しくスポーツする時間が取れないことが推察されます。また、学生時代に行っていたスポーツを仕事などで一旦中断してしまい再開するきっかけがないというケースも想定されるため、スポーツができる場の効果的な告知や運動のメリットを明確に伝えるなど、参加したくなる事業づくりが課題です。

(c) 40～50代

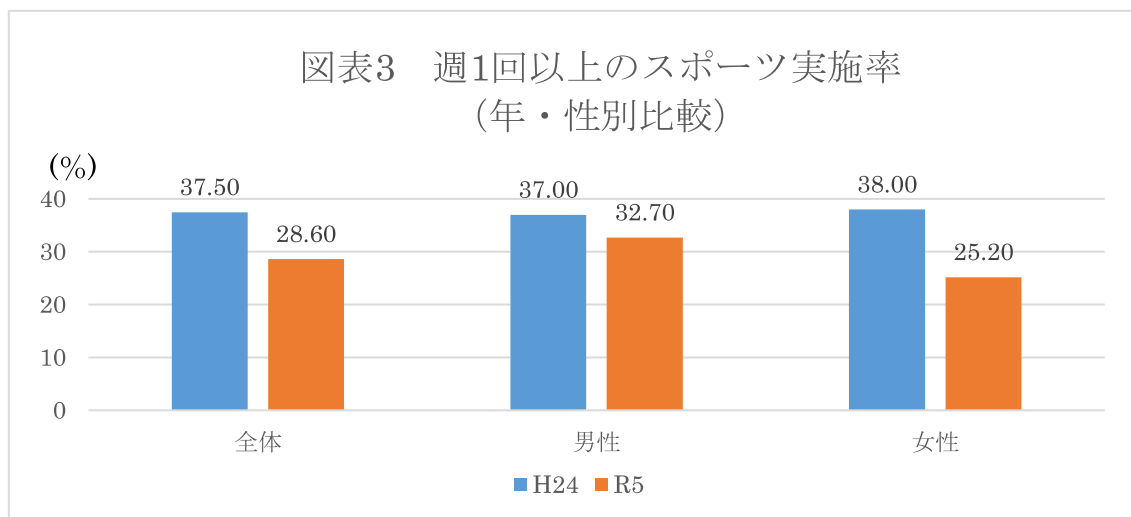
年代別では40・50代の実施率が男女ともに10年間でかなり減少しています。要因として考えられるのは、この年代は子育て・働き世代の方と身体機能やホルモンバランスの変化が顕著な世代の方にあたることから、仕事や家庭の用事が忙しくスポーツする時間が取れなかったり、体調不良でスポーツに向き合えなかったりなど、様々な理由でスポーツに

関われない・関わらない市民が多いことが推察されます。スポーツの魅力や運動のメリットなどをわかりやすくPRし、興味を誘うコンテンツづくりが必要です。

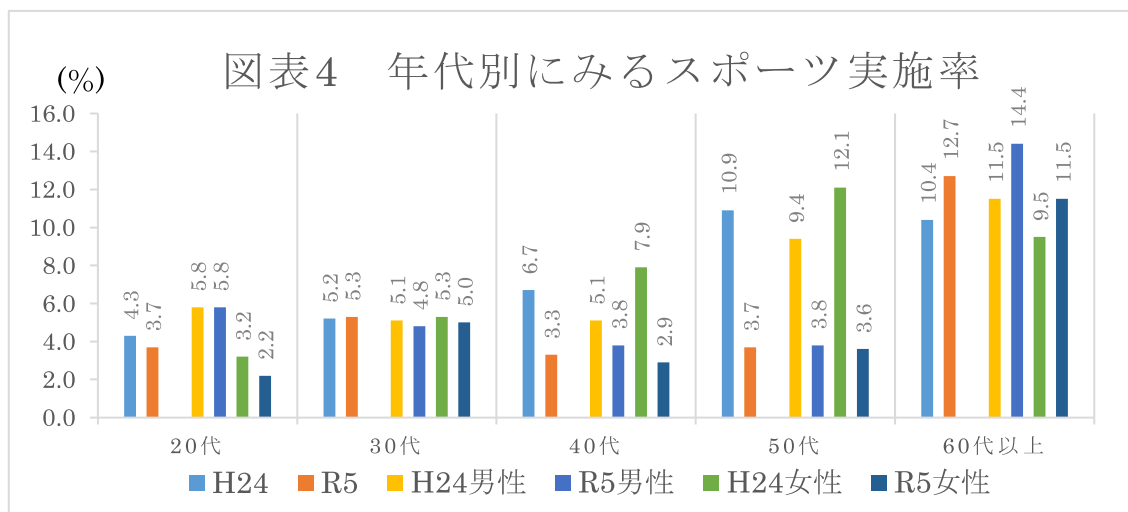
(d) 60代以上

60代以上における週1回以上のスポーツ実施率について10年間の経年変化をみると、平成24年度から令和5年度で2.3ポイント上昇し、男女とも実施率は増加しています。

本市では、地域での「ロコトレ教室」・狩野グラウンドのグラウンドゴルフ場開放・気軽に取り組みやすい「ノルディックウォーキング教室」などの開催により、運動機会や地域交流を促進しスポーツ実施率増加に寄与していると推察されます。今後もイベント参加者アンケートにてニーズや満足度を把握し事業のブラッシュアップを図ることが必要です。



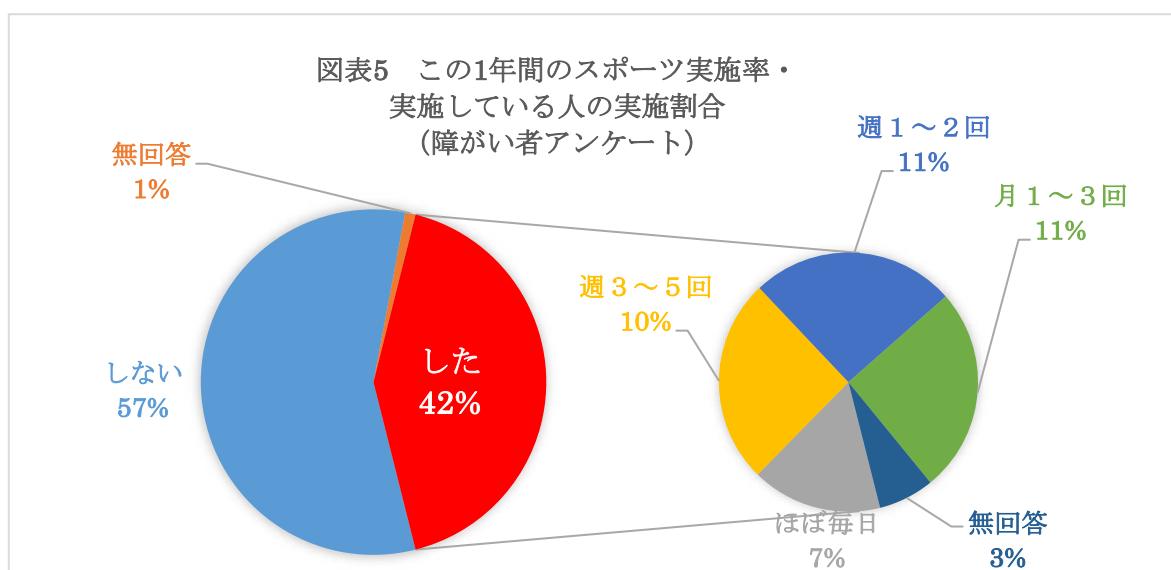
出典：「伊豆市民スポーツアンケート調査」



出典：「伊豆市民スポーツアンケート調査」

(e) 障がい者

令和5年度に、就労支援事業所利用者の皆さんに対しスポーツ活動アンケート調査を実施しました。障がい者の方の「この1年間でのスポーツ実施率」及び「スポーツをした人の実施頻度」をみると、この1年間でスポーツをした人は42%・このうち週1回以上のスポーツ実施率は28%という結果となっており、本市の目標50%を下回っている状況です。本市では、パラスポーツ体験会やスポーツ推進委員の出張教室でのレクチャーなど、パラスポーツの啓発に取り組んできました。今後は障がいのある方・ない方皆さんが参加でき楽しんでいただける事業の企画・実施を行っていくことも重要です。



出典：「伊豆市民スポーツアンケート調査」

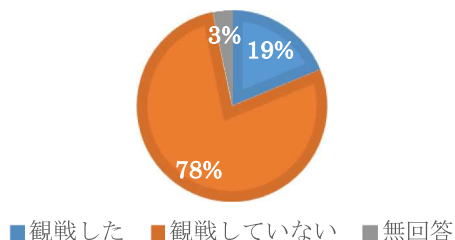
(C) スポーツ観戦状況…「みる」スポーツ

過去1年間にスポーツを会場で直接観戦した市民の割合（以下「スポーツ観戦率」）をみると、観戦した人はわずか19%と少ない結果となっています。本市でスポーツを観戦するイベントの実施が少ないため、身近で直接スポーツを観る機会がないという現状もあります。今後、臨場感ある現場でのスポーツ観戦の機会を創り「みる」スポーツに関わることもスポーツ人口増加に寄与すると考えられます。

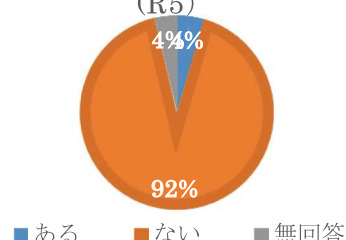
(D) スポーツボランティア実施状況…「ささえる」スポーツ

スポーツボランティア実施率についても、過去1年間にスポーツボランティアを行ったことがある市民の割合（以下「スポーツボランティア実施率」）は4%と低い結果となっています。本市では令和2年度に「東京2020大会」の自転車競技会場が伊豆ペロドロームで開催され、多くのボランティアの皆さんが運営スタッフとして「ささえる」スポーツに取り組んでくださいました。オリンピックレガシーのひとつとして、今後開催される大会において「ささえる」スポーツを体験できる事業を実施し、様々な形でスポーツに関わる市民を増やすことが重要です。

図表6 過去1年間の
スポーツ観戦率 (R5)



図表7 過去1年間の
スポーツボランティア実施率
(R5)



出典：「伊豆市民スポーツアンケート調査」

(イ) 子どものスポーツ活動

(A) こどもの体力・運動能力の推移

子どもの体力・運動能力について、後期計画策定時の平成24年度、直近2ヶ年度（令和3・4年度）及び令和4年度の全国・静岡県平均を比較すると、小学5年生では男子は平成24年度の平均値が最も高い値となっています。また、女子は20mシャトルラン・ソフトボール投げにおいて最も高い値となっています。

中学生については、男子は平成24年度及び令和3年度の記録が高く、令和4年度の本市の男子は平均値を上回る種目はありませんでした。女子は上体起こしにおいて他の平均値を上回った結果となっています。

これから、少子化によるスポーツ団体の減少・中学部活動の規模縮小などにより、子どもがスポーツに関われる環境が変化し体力・運動能力の低下が危惧されることから、希望するスポーツ活動に参加できる場の構築を検討・実施していくことが重要です。

図表8 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の比較（平成24年・令和3・4年・県・全国）

項目	小5男子					小5女子				
	H24	R3	R4	R4県	R4全国	H24	R3	R4	R4県	R4全国
握力 (kg)	16.99	15.78	14.90	15.94	16.21	16.39	14.78	15.18	16.02	16.10
上体起こし (回)	20.53	18.81	19.05	18.20	18.86	19.31	18.59	18.45	17.39	17.97
長座体前屈 (cm)	33.99	32.51	31.13	32.21	33.79	36.88	36.44	35.19	36.76	38.18
反復横跳び (点)	45.82	42.95	43.27	40.43	40.36	41.40	42.16	42.11	39.06	38.66
20mシャトルラン (回)	60.43	53.66	51.61	47.28	45.92	48.28	46.76	48.46	39.12	36.97
50m走 (秒)	9.18	9.35	9.35	9.57	9.53	9.33	9.45	9.34	9.70	9.70
立ち幅跳び (cm)	159.64	149.00	153.07	150.91	150.83	153.45	148.51	147.88	146.05	144.55
ソフトボール投げ (m)	24.90	22.22	20.96	19.22	20.31	15.83	14.91	16.11	13.41	13.17

項目	中2男子					中2女子				
	H24	R3	R4	R4県	R4全国	H24	R3	R4	R4県	R4全国
握力 (kg)	31.79	30.56	28.24	28.90	28.99	22.82	23.64	22.68	23.42	23.21
上体起こし (回)	28.57	27.30	26.53	25.86	25.74	23.37	23.48	23.74	21.75	21.67
長座体前屈 (cm)	46.18	48.19	40.03	44.94	43.87	45.20	45.67	44.99	47.19	46.07
反復横跳び (点)	54.97	55.31	55.13	51.92	51.05	46.65	50.28	49.80	46.63	45.81
持久走 (秒)	382.62	390.35	399.77	405.12	409.81	279.56	288.32	296.01	295.80	302.89
50m走 (秒)	7.87	7.89	8.24	8.02	8.06	8.80	8.79	9.01	8.88	8.96
立ち幅跳び (cm)	204.22	210.96	199.58	199.06	196.89	173.88	178.93	173.44	171.50	167.04
ハンドボール投げ (m)	22.12	21.24	20.20	20.58	20.28	14.20	14.73	14.36	13.11	12.45

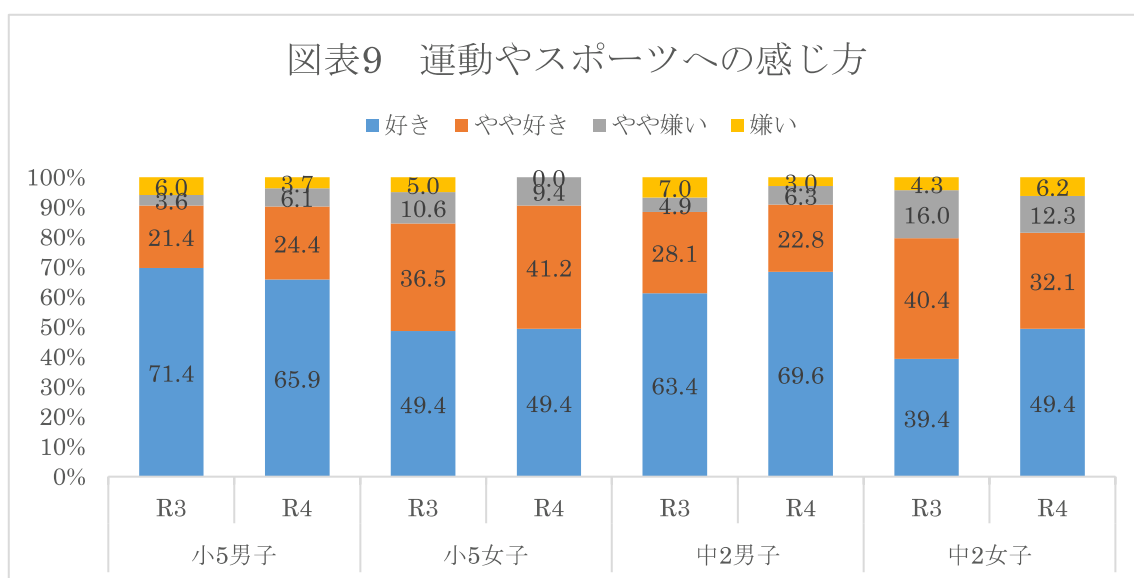
※各種目で最も高い平均値：赤字

出典：伊豆市「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」

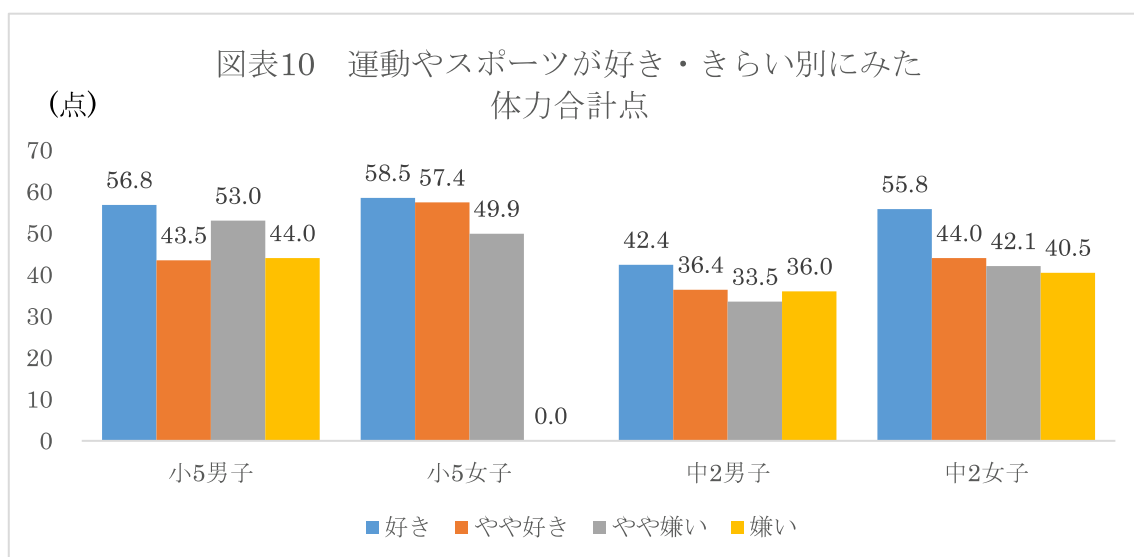
(B) スポーツへの感じ方

運動やスポーツへの感じ方について、小・中学生ともに「好き」「やや好き」の合計は男子の方で割合が高くなっています。小学生と中学生を比較すると、男子は「好き」「やや好き」の合計は、小学5年生よりも中学2年生の方で割合が高くなっています。一方女子は小学5年生よりも中学2年生の方でどちらにおいても「好き」「やや好き」の合計は、割合が低くなっています。また、運動やスポーツが好きと感じている子どもは体力が高く、1週間の総運動時間も多いことが明らかになっています。

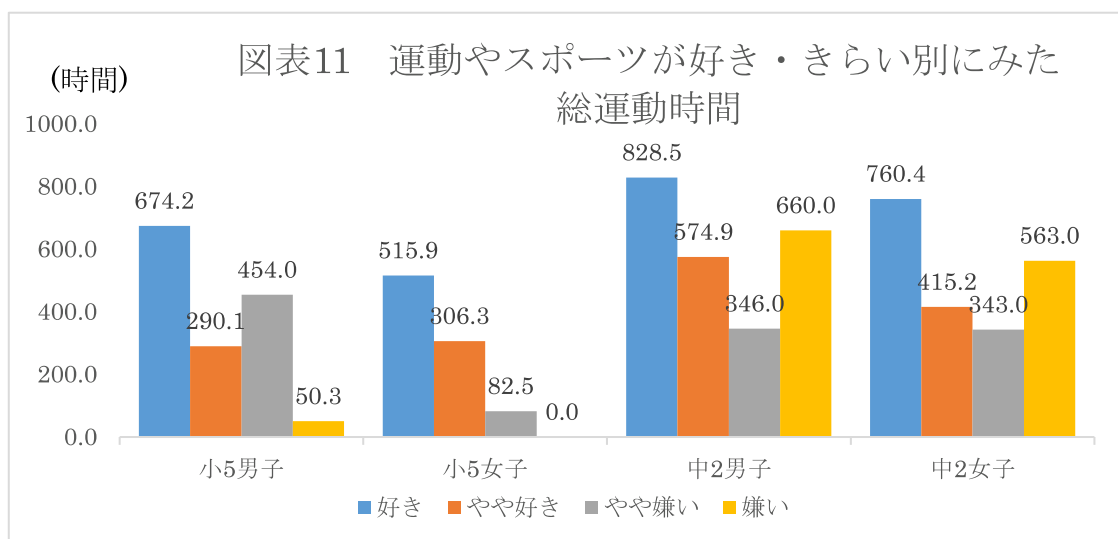
今後も「スポーツが好き」な子ども・「好きになる」子どもを増やし、スポーツ実施率の向上に繋げていく取組が必要です。



出典：伊豆市「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」



出典：伊豆市「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」



出典：伊豆市「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」

(C) 学校部活動の状況

学校生活を一緒に送っている仲間と、同じスポーツや文化活動に取り組むことを通して、知識や技能だけでなく、人間性や社会性を育むことができる「部活動」には、市立中学校の生徒の80%以上が加入しており、生徒の心身の成長に大きな役割を果たしています。一方で国からは、将来にわたって持続可能な部活動となるよう「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」が示されており、部活動の充実と教職員の負担軽減などを目的に部活動指導員の配置や部活動の地域移携を推進しています。

本市では、令和5年度に「伊豆市学校部活動在り方検討委員会」が創設され、学校・保護者・関係団体・行政（教育委員会）で構成した委員の意見交換がスタートしました。少子化の中でも、将来にわたってすべての生徒が希望するスポーツや文化活動に親しむ機会を提供できる体制の構築に向けての取組が必要です。

図表12 伊豆市立中学部活動の状況 ※各年度5月時点						
生徒数	項目		令和4年度		令和5年度	
	生徒総数		588	100%	566	100%
	部活動加入数		543	92%	464	82%
	内訳	運動部	451	83%	363	78%
		文化部	92	17%	101	22%

出典：伊豆市資料

(ウ) 令和5年度 伊豆市スポーツ活動アンケート調査結果（市民・障がい者）

本計画策定に向けて、市民アンケートを実施しました。詳細は「参考資料」に記載の通りです。週1回以上のスポーツ実施率をはじめ、スポーツを行わない理由・運動サークルや市主催のイベントへの参加状況と参加しない理由・スポーツ情報の入手方法・スポーツの普及、推進に関して市に望むものなど、市民のニーズや要望に対する施策の検討が必要です。

また、障がい者の方についてもスポーツ実施率や参加したい活動・施設への希望も調査しました。今後の事業に反映していく必要があります。

※詳細：「参考資料」に掲載

(3) 市のスポーツ環境

(ア) スポーツをする場

(A) 公共スポーツ施設

市内には屋外（グラウンド5・野球場1・テニスコート2）や屋内（体育館3・室内温水プール1）様々なスポーツ施設があります。平成16年度の伊豆市合併以降、他市と比べてスポーツ施設数は多い状況です。

図表13 市内公共スポーツ施設一覧

No.	施設名	機能
1	狩野川記念公園グラウンド	野球場（スポ少）、サッカー場
2	修善寺グラウンド	野球場、サッカー場
3	中伊豆グラウンド	野球場、サッカー場、ソフトボール場
4	白岩グラウンド	野球場（スポ少）、ソフトボール場
5	狩野グラウンド	野球場、サッカー場、ソフトボール場
6	丸山スポーツ公園野球場	多目的運動公園（野球場、グラウンドゴルフ）
7	狩野ドーム	競技場（バレー3面、バスケ2面、バドミントン10面）
8	中伊豆社会体育館	競技場（バレー2面、バスケ1面、バドミントン6面）
9	土肥社会体育館	競技場（バレー2面、バドミントン3面）
10	中伊豆室内温水プール	25m×7コース、小プール
11	狩野川記念公園テニスコート	テニスコート3面
12	丸山スポーツ公園テニスコート	テニスコート4面
13	中伊豆弓道場	弓道場

出典：伊豆市資料

(B) 学校体育施設

本市では、学校教育に支障のない範囲で、社会教育団体（スポーツ協会・スポーツ少年団など）が地域の身近なスポーツ・レクリエーション活動などの場として、公立小中学校等の体育施設を市民が利用できるように開放しています。各施設の開放日・時間は学校により異なりますが、目安としては平日が 18～21 時、土日祝日及び長期休業日が 9～21 時となっています。

(イ) スポーツを支える担い手

(A) スポーツ推進審議委員

スポーツ基本法・市の条例に基づき、本市のスポーツ推進に関する事項について調査審議する組織として、2 年の任期で委員数は 9 人となっています。本計画策定をはじめ、本市が目指すべきスポーツ推進の方向性を決定する、根幹を担う重要な役割を担っています。

(B) スポーツ推進委員

委員数は令和 5 年 4 月 1 日現在 24 人であり、地域に根ざしたスポーツ・レクリエーション振興事業を展開され、本市のスポーツ行政の推進者として重要な役割を担っています。

また、伊豆市主催の地区対抗スポーツ大会への運営支援・各行事開催時に地域に出向き軽スポーツ・パラスポーツのレクチャー等を行う「出前教室」を実施しており、地域の世代交流を推進しています。

(C) 地区体育委員

各区から選出された「地区体育委員」の皆さんは、市の地区対抗大会への参加調整・地域交流事業の企画、実施などを担当し、市と地域の橋渡し役を行っていただき地域でのスポーツ推進事業の充実を図っています。

(D) NPO 法人伊豆市スポーツ協会

「スポーツと健康のまち伊豆」を目指し、市民の健康増進・体力の向上に資する事業、生涯スポーツ振興と青少年健全育成に寄与するため、市内スポーツ施設の管理、各スポーツ団体事務局及び指導者育成、総合型地域スポーツクラブの運営などを行っています。

平成 16 年 4 月の市町村合併により、旧 4 町の体育協会を母体として設立され、平成 31 年 4 月に「伊豆市スポーツ協会」に名称変更されました。

現在、同協会には競技団体 18 団体、スポ少団体 25 団体、計 43 団体が加盟しています。

(4) 課題のまとめ

現状と課題を以下のように整理し、解決のために必要な取組・考え方をまとめました。

○スポーツへの関心を喚起する

ライフステージに応じたスポーツ実施率向上の取組が必要

- ・成人の週1回以上のスポーツ実施率...28.7%(H24より△12.4%)
- ・未実施層や継続したスポーツ実施への取組が必要
- ・興味を誘うコンテンツづくり(スポーツ×健康、観光等の+α)

誰もがスポーツできる仕組み・環境を整備する

- ・障がい者がこの1年間でスポーツをした人は39.8%
- ・スポーツの魅力、メリット、参加しやすい場づくりが必要
- ・より多くの市民が使いやすいスポーツ施設の環境整備が必要

より多くの市民にスポーツ情報を周知することが必要

- ・「広報いず」「情報メール」へのこまめな情報掲載
- ・より効果的な情報発信の併用(SNS、メディア特集など)

○スポーツを通じた健康づくりの取組を充実する

- ・3人に2人はスポーツを「していない」市民の運動不足解消等の取組が重要
- ・“げんきプロジェクト”と連携しスポーツと健康の大切さを周知する

○スポーツを活用してまちを活性化する

- ・東京2020大会オリ・パラ開催会場のレガシー推進
- ・地元選手、チームの応援・支援等による郷土愛の誇りの醸成
- ・地域。市民交流の場としてのスポーツイベントの充実

○スポーツを支える人材と組織を育成する

- ・競技団体数、会員の減少が止まらない状況への対策
- ・スポーツを支える人材、組織の育成が必要

○市民に身近なスポーツ環境の整備

- ・スポーツ推進に求めるもので最多「施設・設備の充実」への対応
- ・スポーツ実施場所で最多「地域の山・川・道路等」の整備
- ・より多くの市民が市の施設を気軽に利用できる取組が必要
→例)「sport enjoy day(スポーツ施設無料開放日)」実施等

第3章 「スポーツのまち伊豆」の実現に向けて

1. 基本方針

前章で示した本市のスポーツを取り巻く現状と課題を踏まえ、伊豆市は、前計画の将来像に基づき、誰もがスポーツを楽しみ、喜びを感じながら、「する」「みる」「ささえる」ことに加え「つくる／はぐくむ」等の国の掲げる新たな視点を持ちスポーツ推進に取り組みます。

また、生涯にわたり自分の興味や体力に応じた多様なスポーツを選び・親しむことで、市民が肉体的、精神的、社会的に満たされる真に「健康」な暮らしと魅力あるまち伊豆市の実現を目指します。

2. 目指す姿

スポーツが健康とにぎわいを創るまち伊豆

【具体的なイメージ】

市民誰もがスポーツを楽しみ、スポーツ活動を支え、まち・ひとのにぎわいを創る。

3. 目標

基本目標 1. スポーツ参加機会の充実

人生 100 年時代の基盤は一人ひとりの心身の健康であり、スポーツは体力の向上や身体的な健康だけではなく、心の健全育成や精神的な充足感の獲得・生活習慣病リスク低下による重大な疾病の罹患率の減少・医療受診及び医療費削減にもつながる活動です。また、仲間づくりや地域コミュニティの活性化にも寄与すると期待されています。

生涯にわたってスポーツを通じ、身体的・精神的・社会的に満たされた状態である「WELL-BEING*」を市民が実現できるよう、スポーツと健康や観光などのツールと連携し、事業の付加価値を高めスポーツ実施率の向上を図ります。また、本市の豊かな地域資源や東京オリ・パラ大会レガシーなどを活用したスポーツへの参加機会の充実を図ります。

基本目標 2. スポーツに関わる「ひと」・「まち」づくり

人口減少・少子高齢化が進行する中、本市のスポーツ団体数や指導者数・地区対抗大会の参加チーム数の減少も顕著であり、活動が困難な状況にあります。市民誰もが自分の興味や体力に応じたスポーツに親しんだり地域交流を促進したりする場としても、各団体の活動は重要なツールとなります。持続可能な活動を維持するため、スポーツ団体体制の見直し・指導者の育成・地元選手やチームへの支援などの取組を推進します。

基本目標 3. スポーツ環境の充実

市内スポーツ施設の適正な管理・整備及び施設の周知促進をはじめ、多くの市民がスポーツを行う場所として最も多い地域の道路や山などについても、安全にスポーツを行えるエリアやウォーキングコースの設定などを行い、市民が気軽にスポーツに親しむ環境整備を推進します。

また、施設予約システムについても DX 化を推進し、利用者及び管理者の利便性を高め施設環境の向上を図ります。

4. 目標値

本計画は、スポーツ基本法第 10 条第 1 項に基づく「地方スポーツ推進計画」として位置づけられ、各地域の実情に応じた内容となることが望ましいと示されており、それぞれの地方自治体は目標値を定めています。

本市においては、以下の目標値を設定します。

【目標値】 成人の週 1 回以上のスポーツ実施率 60%

5. 体系図

第2次伊豆市スポーツ推進計画 体系図



6. スポーツ推進に向けた取組

(1) 基本施策

基本目標 1. スポーツ参加機会の充実

(1) 魅力や効果を体感する機会づくり

各スポーツ組織と連携し、子どもから高齢者までが初心者でも楽しく気軽に参加できるウォーキングイベントや軽スポーツ教室の充実を図ります。

「健康いず 21」に基づき、市民の健康づくりを後押しする取組を進めます。特に、日常生活の中で健康づくりに取り組める「いずし健康マイレージ*」の活用を促し、健康に関心を持つきっかけづくりや、健康行動の継続を支援します。また、地域の魅力を体感しながらスポーツを楽しむ「スポーツ×観光」や、デジタル技術を活用したスポーツなどのイベントを開催し、「スポーツに関心のない市民」の参加に繋がります。



◎主な取組

スポーツイベント×健康チェックの実施
地域の魅力スポット等でのスポーツイベントの実施
他分野施設、利用者等への周知促進（文化・企業）

◎SDG s への貢献



(2) こどものスポーツ推進



幼少期から体を動かす楽しさを知ることや、運動能力が著しく発達する時期「ゴールデンエイジ（5～12歳）」や「プレ・ゴールデンエイジ（4～8歳）」での効果的なスポーツ経験の場を提供し、子どもの成長や健康増進を促進します。

また、スポーツ推進委員による「運動能力向上委員会」の更なる充実を図り、「スポーツが好き」になる子どもが増え、意欲的に継続して体を動かすことで、体力や運動能力の向上を促進し、伊豆市のスポーツ実施率の向上に繋がります。

◎主な取組

「運動能力向上委員会*」参加者のニーズ反映
「出前講座」先の見直し
幼少期の運動の大切さの周知促進（特に幼少期保護者）

◎SDG s への貢献



(3) 働き盛り、子育て世代のスポーツ推進



働く世代のうち、特にスポーツ実施率の低い20～50代は、健康増進の観点からも、国においても「健康無関心層」として位置づけられ、重点的なアプローチが必要とされています。

当該世代に向けたスポーツイベントを実施し、運動不足や生活習慣の改善につながる機会をつくります。

また、子育て世代の親子を対象に、一緒に参加できる運動プログラムや、託児付きで親がスポーツを楽しめる機会づくり、親子のいる場にスポーツ指導者やスポーツ推進委員を派遣し、体を動かす楽しさを伝える事業などを行い、子育て世代の親子を支援します。

◎主な取組

「出前講座」の見直し（企業への案内を追加）
親子で参加できるスポーツイベントの実施
スポーツ未実施層（20～50代女性）対象事業の実施

◎SDGsへの貢献



(4) 高齢者のスポーツ推進

スポーツ実施率の高い高齢者の方が継続してスポーツに取り組めるように、個々の健康状態、関心に応じて参加できる健康・体力づくり、居場所や仲間づくりにつながるスポーツ教室などを実施します。

また、近年フレイル*予防や改善に重点が置かれており、予防のための体づくりだけでなく、こころの健康や地域のつながりの強化等多角的なアプローチが求められていることから、スポーツ施策を活用した課題解決に向けて、健康福祉部局と連携して取り組みます。



◎主な取組

「大人のスポーツテスト」の周知促進
「出前講座」の見直し（地域の居場所等追加）
スポーツ協会・老人会との連携

◎SDGsへの貢献



(5) 障がい者のスポーツ推進

児童発達支援センターや特別支援学校・就労支援事業所などと連携し、障がいの特性や多様化する障がい者スポーツのニーズをふまえ、身近な場所でスポーツを楽しむ機会を提供します。

また、令和7年度には伊豆市で「デフリンピック*」自転車競技が開催されることから、デフリンピックや競技ルールの周知・選手を招いての体験会の開催などを実施し、当市での開催機運を高めます。



◎主な取組

健常者と障がい者が一緒に楽しむスポーツイベントの実施
「出張講座」の見直し（就労支援事業所等追加）
デフリンピック競技体験、選手による教室の実施

◎SDG s への貢献



(6) インクルーシブスポーツの推進



年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、誰もがともに楽しむことができるスポーツイベント・大会の開催やその支援を行うとともに、市スポーツ協会と教育委員会、障がい者団体、競技団体、地域団体などが連携しながら、市内施設を活用し地域で誰もが楽しめるインクルーシブスポーツ*を推進します。

◎主な取組

誰でも参加可能なスポーツイベントの実施
様々なスポーツ体験・講習会の実施

◎SDG s への貢献



(7) スポーツツーリズムの推進

本市ならではの観光・地域資源や東京2020オリンピック・パラリンピック大会競技会場や大会開催のレガシー事業など豊かな自然環境を生かしたアウトドアスポーツを組み合わせ、市内でスポーツと旅行・観光を楽しむ来訪者を増やし、地域経済を活性化させるスポーツツーリズム*を推進します。



◎主な取組

市内の地域資源を活用したスポーツイベントの実施
スポーツ体験×観光のイベント実施

◎SDG s への貢献



(8) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー活用

2021年に開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の自転車競技会場となったベロドロームを活用したレガシー推進や、大会開催時の参加選手・関係団体及び企業・ボランティアの皆さんとの連携・協働や、大会運営のノウハウを生かし、まちが賑わうスポーツイベントを創出します。



◎主な取組

東京オリ・パラ大会開催競技会場の活用
自転車競技や関連企業等と連携したスポーツイベントの実施
東京2020オリ・パラ大会運営のノウハウ活用

◎SDG s への貢献



基本目標 2. スポーツに関わる「ひと」・「まち」づくり

(1) 指導者の育成



各スポーツ団体や行政で、地域のスポーツ活動で活躍する人材の育成機会を創り、各ジャンルや年代のスポーツ指導に関する基礎的な知識や技能を身につける機会とするとともに、体罰や暴力、その他不適切指導の根絶を目指します。

また、国の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」の提言を受け、本市における部活動の在り方を検討し、指導者派遣の必要性・派遣

可能な競技や人材及び受け入れ団体等について調査・検討し、中学生のスポーツ活動を支援する人材の発掘、体制づくりを進めます。

◎主な取組

市内の指導者育成事業の充実

指導者資格取得時の支援

「伊豆市学校部活動在り方検討委員会」の創設・協議

◎SDG s への貢献



(2) スポーツ団体の育成

年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関係なく、誰でも気軽に身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整えるため、スポーツ推進委員・地区体育委員・スポーツ協会及びスポーツ少年団加盟団体、地域団体などが連携し、市民のスポーツ人口増加・健康増進に向けて一元的に取り組む体制づくりを推進します。特に、スポーツ協会とスポーツ少年団においては、競技ごとに幅広い世代で交流・活動できる体制構築に向けて検討します。



◎主な取組

団体の世代間・競技間での交流機会創出

持続可能な団体活動に向けた支援

◎SDG s への貢献



(3) スポーツクラブの充実（中学部活動の地域連携）

地域コミュニティの活性化に寄与する各スポーツクラブと行政との連携を図り、クラブの認知度の向上や活動の充実を図ります。

また、少子化による中学部活動の継続困難や教員の働き方改革などの観点から、国の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」の提言を受け、本市では「伊豆市学校部活動在り方検討委員会」を創設し、将来にわたり中学生がスポーツ活動を継続できる環境の構築を進めます。



◎主な取組

団体の世代間・競技間での交流機会創出
持続可能な団体活動に向けた支援

◎SDG s への貢献



(4) 地域交流機会創出による地域活性化

地区の特性を踏まえた事業の促進やスポーツ参加機会を身近にするため、スポーツ教室や大会・行事の開催単位の見直しを行います。

スポーツに対する苦手意識のある子どもや高齢者が気軽に楽しめるスポーツ教室や大会を、スポーツ推進委員や地区体育委員と連携しながら開催し、スポーツへの参加者の拡充及び地域の活性化を目指します。



◎主な取組

地区の意向を反映した地区対抗大会の実施
誰でも参加しやすいスポーツイベントの実施

◎SDG s への貢献



(5) 地元チームや選手の応援・支援等の機運醸成



市内施設を利用しスポーツ教室等を実施するプロスポーツチーム等と連携し、子どもたちをはじめ多くの市民がトップアスリートと交流する機会をつくることで、トップレベルに至るまでの体験談を聞いたり、一流の技術を目にしたりすることで、スポーツの魅力をより深く感じ、スポーツへの興味・関心を高め、未来を拓く子どもたちを育む「実学教育」の一環として実施します。

また、全国・国際大会に出場した選手には「伊豆市各種競技大会出場助成金」にて助成金を交付し、大舞台で活躍する地元選手を応援する体制づくりの一つとして推進します。

◎主な取組

地元チーム・選手の周知促進

「伊豆市各種競技大会出場助成金」周知・交付

◎SDGsへの貢献



基本目標 3. 快適なスポーツ環境の整備

(1) スポーツ施設の適切な保守・管理

利用しやすいスポーツ施設の管理運営、適切な保守管理による施設の機能維持、向上及びユニバーサルデザイン*の推進に努めます。

また、市民がスポーツ施設を知り利用促進を図る機会づくりとして、「施設無料開放day」を設け、様々なスポーツを自由にいつでもできる日を設けます。

利用者のニーズに応じた使用区分・時間・料金・減免率の設定等、利用者の視点に立ちながらも使用料収入を確保し、市民のスポーツ振興に資する施設の運用を目指します。



◎主な取組

利用者のニーズを反映した施設運営
計画的な施設整備の検討・実施
スポーツ施設の周知促進イベントの実施

◎SDG s への貢献



(2) 学校体育施設の活用

学校体育施設（校庭・体育館等）を、市民のスポーツ振興のため地域団体等によるスポーツ・生涯学習活動の場やスポーツ少年団・スポーツ協会の加盟団体活動・総合型地域スポーツクラブ活動などへの開放を継続します。

◎主な取組

利用者・学校のニーズを反映した施設利用
地域団体への施設利用促進

◎SDG s への貢献



(3) 施設予約システムの充実

市民・来訪者などの施設利用者がどこにいてもオンラインで施設予約から利用までがワンストップで行えるシステムを構築することで、当市のスポーツ施設が市民をはじめ多くの方が快適に施設利用できる環境を整備するとともに、システムのD X化を進めます。

◎主な取組

施設予約システムのD X化

◎SDG s への貢献



(4) スポーツ情報の収集、発信システムの整備・充実

市民がスポーツを「する」「みる」「ささえる（運営支援等）」といった活動に参加しやすくなるよう、スポーツイベントの開催情報・スポーツ施設の利用に関する情報などを、本市のホームページや広報紙、市公式 SNS（LINE・Facebook など）など、多様なメディアを連動させ提供します。

◎主な取組

参加対象者に届く発信ツールの効果的な選択
スポーツ関連企業との連携による情報発信の充実

◎SDG s への貢献



参考資料

1. 用語解説

頭文字	用語	説明
英数字	AI（人工知能）	「Artificial Intelligence」の略。人間の脳が行っている手的な作業をコンピューターで模倣したソフトウェアやシステム。具体的には、人間の使う自然言語を理解したり、理論的な推論を行ったり、経験から学習したりするコンピュータープログラム等のこと。
	AP（拡張現実）	「Augmented Reality」の略。現実世界にデジタル合成などによって作られたバーチャルの視覚情報を重ねて表示し、人間の現実認識を拡張する技術又はコンピューターによって拡張された現実環境を示す。
	DX 化	「Digital Transformation」の略。IT・デジタル技術の活用によって、生活やビジネスをより良いものに変化させること。
	e スポーツ	「エレクトロニック・スポーツ」の略。広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技としてとらえる際の名称。
	ICT （情報通信技術）	「Information and Communication Technology」の略。情報処理及び情報通信に関連する諸分野における技術・産業・設備・サービス等の総称。
	SDGs （持続可能な開発目標）	「Sustainable Development Goals」の略。平成 27 年 9 月に国連サミットで採択された令和 12 年までの世界共通の目標である。健康や教育、ジェンダー平等などをテーマとする 17 のゴールから構成され、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指し、世界各国及び日本の全国各地で取組が推進されている。
	SNS	「Social Networking Service」の略。友人・知人等の社会的ネットワークをインターネット上で提供することを目的とする、コミュニティ型のサービスのこと。

頭文字	用語	説明
英数字	VR（仮想現実）	「Virtual Reality」の略。ヘッドマウントディスプレイ内に360度のコンテンツを表示し、その映像内にいるかのような臨場感を与える技術を指す。
	WELL-BEING	個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。
あ	新しい生活様式	日常生活の様々な場面で、感染症予防のために「人との間隔を空ける（ソーシャルディスタンスをとる）」「マスクを着用する」「こまめに手を洗う」などの対策を取り入れていく生活様式のこと。
	いずし健康マイレージ	「伊豆市げんきプロジェクト」推進事業の1つで、自分に合った健康づくりの目標に取組みポイントを貯めると、地域の協力・協賛店によるサービスや景品がプレゼントされる。
	インクルーシブスポーツ	年齢や性別、障がいの有無、国籍等に関わらず、誰もがお互いの個性や人格を尊重するとともに、人々の多様性を認め合い、様々な人がともに実施できるスポーツのこと。
	運動能力向上委員会	伊豆市の小学生を対象に「スポーツが好き」な子どもを増やすことを目的に、苦手な傾向にある鉄棒・ボール投げ・縄跳びなどについて、伊豆市スポーツ推進委員がレクチャーする事業。
か	共生社会	これまで、必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった女性、高齢者、障害者、外国人等が積極的に参加・貢献していくことができる社会のこと。誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会のこと。
	健康	病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること（日本WHO協会訳）。
	健康アンケート	「健康いず 21（第4次）計画」策定にあたり、令和4年度に20歳以上の市民に生活状況や健康づくりへの関心等について調査し、施策・事業の基礎資料とし実施したもの。

頭文字	用語	説明
か	健康いず 2 1	伊豆市民の健康づくり計画で 3 期計画（2013～2023 年度）からなる。
さ	ジェンダー平等	一人ひとりの人間が、性別に関わらず、平等に責任や権利、機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めることができること。
	人生 100 年時代	日本は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えており、ある海外の研究では、2007 年に日本で生まれた子供の半数が 107 歳より長く生きると推計されている。100 年という長い期間をより充実したものにするためには、幼児教育から小・中・高等学校教育、大学教育、更には社会人の学び直しに至るまで、生涯にわたる学習が重要である。人生 100 年時代に、高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくることが重要な課題となっている。人生 100 年時代を見据えた経済社会システムを創り上げるための政策のグランドデザインを検討する会議として、平成 29 年 9 月に「人生 100 年時代構想会議」が設置された。
	スポーツ基本計画	日本のスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、スポーツ庁が策定する計画のこと。スポーツ基本法の理念を具体化し、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置付けられている。平成 24（2012）年に第 1 期、平成 29（2017）年に第 2 期が策定されており、令和 4（2022）年に第 3 期が策定された。
	スポーツ基本法	日本のスポーツに関する基本理念を定め、国、地方公共団体の責務、スポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めた法律である。平成 23（2011）年 6 月 24 日に、平成 23 年法律第 78 号として公布され、同年 8 月 24 日に施行された。
	スポーツツーリズム	トップスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取組のこと。

頭文字	用語	説明
た	地域スポーツ団体	伊豆市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、スポーツチーム等、地域のスポーツ振興のために活動している団体を指す。 ＊伊豆市スポーツ協会 市民のスポーツ活動推進・健康増進・地域交流を目的に、主に成人を対象とした競技団体により組織される地域の重要なスポーツ団体である。現在、18 競技の団体が加盟している。伊豆市スポーツ協会（事務局）と連携ながら、様々な競技種目で大会等を実施し、多くの市民がスポーツに親しむ機会を提供している。 ＊総合型地域スポーツクラブ 誰もが身近な地域で気軽にスポーツに親しむことができるよう、「多種目」「多世代」「多志向」を理念とし、市民のニーズに応じて様々な種目を楽しむことができるクラブ。NPO 法人伊豆市スポーツ協会が運営している。
	デフリンピック	4 年に 1 度、世界規模で行われる聴覚障がい者のための総合スポーツ競技大会。夏季大会は 1924 年にフランスで冬季大会は 1949 年にオーストリアで始まった。
は	フレイル	健康な状態と要介護状態の間にある「虚弱」に当たる言葉で、加齢に伴い筋力や認知機能などの心身の機能が低下し将来要介護状態に陥る危険性が高い状態のこと。
や	ユニバーサルデザイン	「ユニバーサル（全ての、普遍的な）」と「デザイン（計画、設計）」という 2 つを組み合わせた言葉で、あらかじめ、年齢や性別、障害の有無、国籍等に関わらず、全ての人が利用しやすいように都市や生活環境をデザインする考え方のこと。
ら	レガシー	レガシー（legacy）とは本来、過去に築かれた、精神的・物理的遺産の意であるが、ここではオリンピック・パラリンピック競技大会等の開催により、開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵のことを指す。
	ロコモティブシンドローム	年齢を重ねることによって筋力が低下したりすることで運動器の機能が低下し、立ったり歩いたりといった移動機能が低下した状態のこと。 （2007 年 日本整形外科学会が提唱した概念）

2. 市民アンケート結果

(1) スポーツ活動アンケート調査

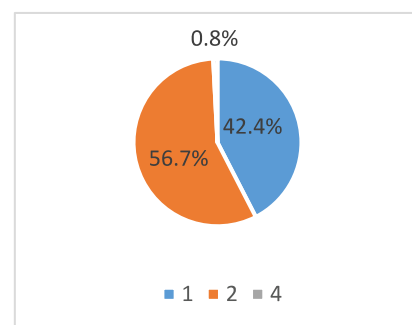
令和5年度 伊豆市スポーツ活動アンケート調査 集計結果

【概要】

- (1) 名称 令和5年度 伊豆市スポーツ活動に関するアンケート調査
(2) 目的 スポーツに関する状況、ニーズを反映するため。
(3) 期間・対象
【期 間】 8月10日～9月6日 最終受理日 9月15日
【対象者】 伊豆市に住所を有する者 1,000人(18歳以上79歳以下)
(4) 方法 アンケート用紙・回答用紙・返信用封筒を郵送
①「回答用紙」記入し、返信用封筒に回答用紙を入れポストに投函
②アンケート用紙記載のQRコードの読み込み又はパソコンの検索にアドレス
入力し、入力フォームにて回答、送信
(5) 回答者 245人(回答率: 24.5%)
※ロゴフォームによる回答: 77人(31%)

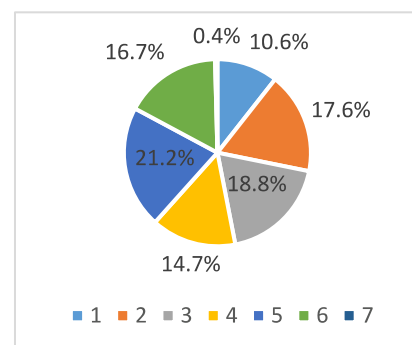
A-1 問1)性別

	回答数	構成比
(1) 男性	104	42.4%
(2) 女性	139	56.7%
(3) その他	0	0.0%
無回答	2	0.8%
計	245	100.0%



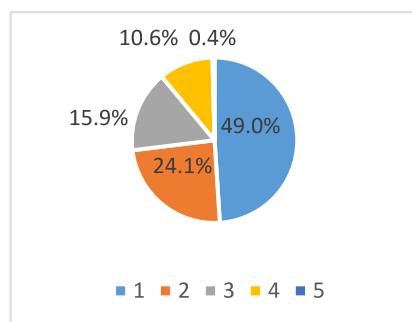
B-1 問2)年齢

	回答数	構成比
(1) 10～20歳代	26	10.6%
(2) 30歳代	43	17.6%
(3) 40歳代	46	18.8%
(4) 50歳代	36	14.7%
(5) 60歳代	52	21.2%
(6) 70歳以上	41	16.7%
無回答	1	0.4%
計	245	100.0%



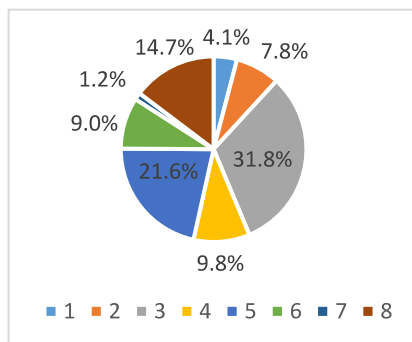
C-1 問3)お住まい

	回答数	構成比
(1) 修善寺地区	120	49.0%
(2) 中伊豆地区	59	24.1%
(3) 天城湯ヶ島地区	39	15.9%
(4) 土肥地区	26	10.6%
無回答	1	0.4%
計	245	100.0%



D-1 問4)職業

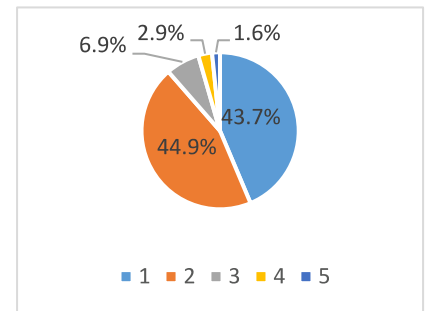
	回答数	構成比
(1) 自営業 (農、林、水産)	10	4.1%
(2) 自営業 (商工、サービス)	19	7.8%
(3) 会社員	78	31.8%
(4) 公務員、教員、団体職員	24	9.8%
(5) パート、アルバイト	53	21.6%
(6) 主婦	22	9.0%
(7) 学生	3	1.2%
(8) 無職	36	14.7%
無回答	0	0.0%
計	245	100.0%



E-1 問5)あなたの健康状態は？

- (1) 健康である
- (2) まあ健康である
- (3) あまり健康でない
- (4) 健康でない
- (5) その他
- 無回答
- 計

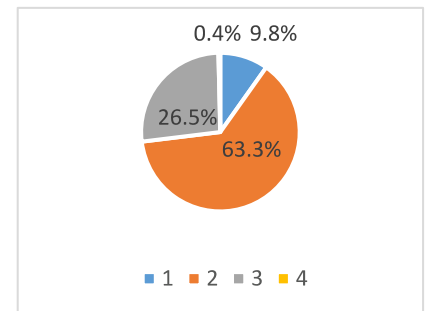
回答数	構成比
107	43.7%
110	44.9%
17	6.9%
7	2.9%
4	1.6%
0	0.0%
245	100.0%



E-1 問6)あなたの体力について

- (1) 自信がある
- (2) 普通である
- (3) 不安がある
- 無回答
- 計

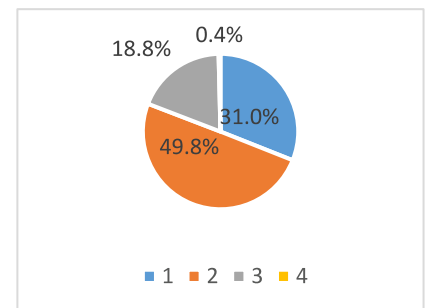
回答数	構成比
24	9.8%
155	63.3%
65	26.5%
1	0.4%
245	100.0%



F-1 問7)体力維持のために最も心がけていることは？

- (1) 食生活
- (2) 睡眠や休養
- (3) スポーツや運動
- 無回答
- 計

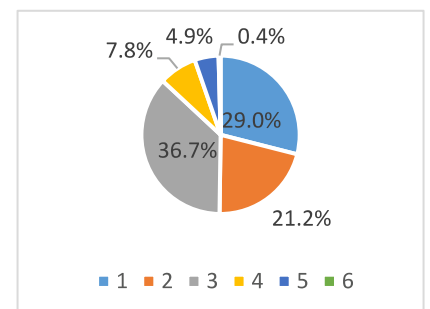
回答数	構成比
76	31.0%
122	49.8%
46	18.8%
1	0.4%
245	100.0%



G-1 問8)世帯構成

- (1) ひとり暮らし
- (2) 夫婦のみ
- (3) 二世帯世帯 (親と子)
- (4) 三世帯世帯 (親と子と孫)
- (5) その他
- 無回答
- 計

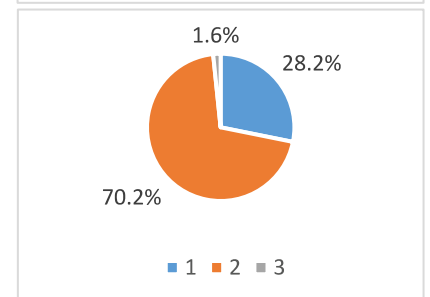
回答数	構成比
71	29.0%
52	21.2%
90	36.7%
19	7.8%
12	4.9%
1	0.4%
245	100.0%



H-1 問9)子育てをしていますか？

- (1) している
- (2) していない
- 無回答
- 計

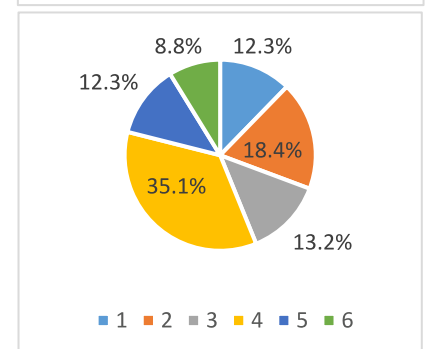
回答数	構成比
69	28.2%
172	70.2%
4	1.6%
245	100.0%



H2-1 問10)H-1で1と答えた方:お子さんの年齢

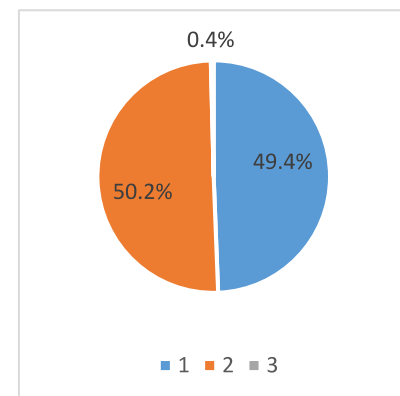
- (1) 現在、妊娠中
- (2) 0～3歳
- (3) 4～6歳
- (4) 7～12歳
- (5) 13～15歳
- (6) 16～18歳
- 無回答
- 計

回答数	構成比
14	12.3%
21	18.4%
15	13.2%
40	35.1%
14	12.3%
10	8.8%
0	0.0%
114	100.0%



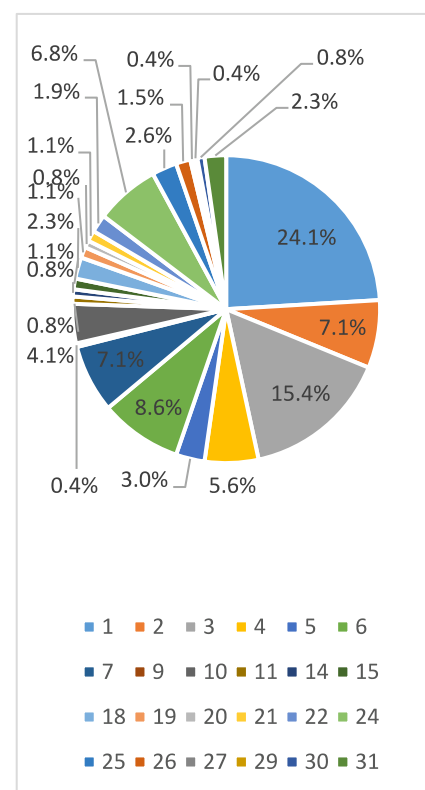
J-1 問11)この1年間にスポーツをしましたか？

	回答数	構成比
(1) 運動・スポーツをした	121	49.4%
(2) 運動・スポーツをしていない	123	50.2%
無回答	1	0.4%
計	245	100.0%



J2-2 J-1で1と答えた方 この1年間にに行ったスポーツは？(3つまで)

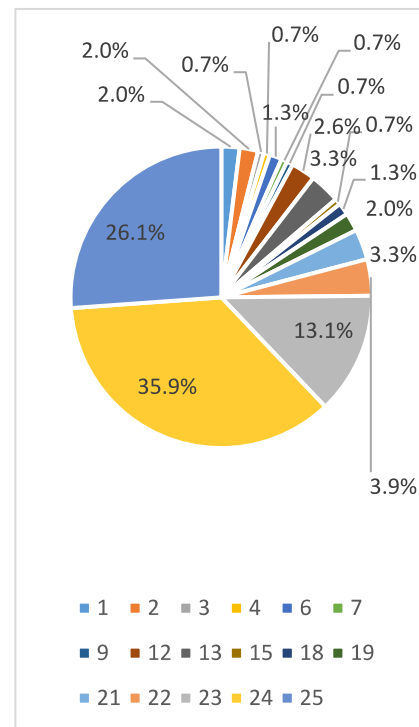
	回答数	構成比
(1) ウォーキング	64	24.1%
(2) ジョギング	19	7.1%
(3) 筋力トレーニング	41	15.4%
(4) サイクリング (自転車)	15	5.6%
(5) ヨガ	8	3.0%
(6) 体操	23	8.6%
(7) 登山・ハイキング	19	7.1%
(8) 一輪車	0	0.0%
(9) アクアビクス・水中ウォーキング	1	0.4%
(10) 水泳	11	4.1%
(11) グラウンドゴルフ	2	0.8%
(12) ゲートボール	0	0.0%
(13) ヘルスバレー	0	0.0%
(14) バドミントン	2	0.8%
(15) サッカー	3	1.1%
(16) フットサル	0	0.0%
(17) ビーチバレー	0	0.0%
(18) 卓球	6	2.3%
(19) テニス	3	1.1%
(20) バスケットボール	2	0.8%
(21) バレーボール・ソフトバレーボール	3	1.1%
(22) 野球・ソフトボール	5	1.9%
(23) レスリング	0	0.0%
(24) ゴルフ	18	6.8%
(25) ダンス・踊り	7	2.6%
(26) 太極拳	4	1.5%
(27) 剣道・柔道・空手	1	0.4%
(28) 陸上競技	0	0.0%
(29) eスポーツ	1	0.4%
(30) その他	2	0.8%
無回答	6	2.3%
計	266	100.0%



J3-2 J-1で1と答えた方

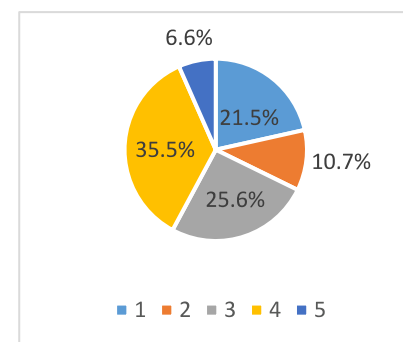
この1年間に運動やスポーツを行った場所(3つまで)

	回答数	構成比
(1) 修善寺グラウンド	3	2.0%
(2) 狩野川記念公園グラウンド	3	2.0%
(3) 狩野グラウンド	1	0.7%
(4) 天城ふるさと広場多目的グラウンド	1	0.7%
(5) 中伊豆グラウンド	0	0.0%
(6) 白岩グラウンド	2	1.3%
(7) 狩野川記念公園テニスコート	1	0.7%
(8) 天城ふるさと広場テニスコート	0	0.0%
(9) 丸山スポーツ公園テニスコート	1	0.7%
(10) 天城ふるさと広場野球場	0	0.0%
(11) 丸山スポーツ公園野球場	0	0.0%
(12) 狩野ドーム	4	2.6%
(13) 中伊豆社会体育館	5	3.3%
(14) 八岳体育館	0	0.0%
(15) 大東体育館	1	0.7%
(16) 土肥南体育館	0	0.0%
(17) 天城ふるさと広場体育館	0	0.0%
(18) 天城ドーム	2	1.3%
(19) 伊豆船原ゴルフクラブ	3	2.0%
(20) 中伊豆弓道場	0	0.0%
(21) 中伊豆室内温水プール（ふれっふ）	5	3.3%
(22) 小・中学校施設（校庭・体育館）	6	3.9%
(23) 民間のスポーツ施設	20	13.1%
(24) 野外フィールド（山、川、海、河川敷、道路など）	55	35.9%
(25) その他	40	26.1%
無回答	0	0.0%
計	153	100.0%



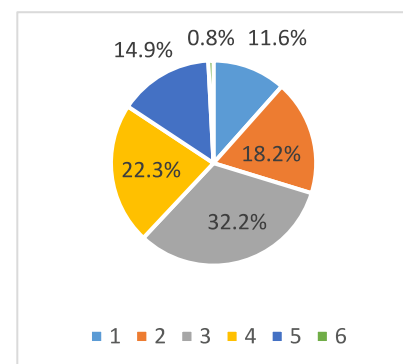
J2-4 問14)運動・スポーツを行う頻度

	回答数	構成比
(1) ほぼ毎日	26	21.5%
(2) 週に3～5日	13	10.7%
(3) 週に1～2回	31	25.6%
(4) 月に1～3回	43	35.5%
無回答	8	6.6%
計	121	100.0%



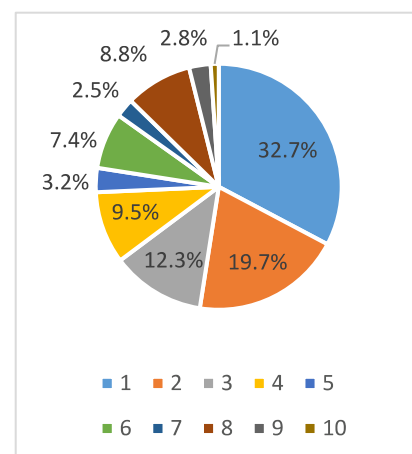
J2-5 問15)1回に行う運動・スポーツの平均時間

	回答数	構成比
(1) 15分未満	14	11.6%
(2) 15～30分程度	22	18.2%
(3) 30分～1時間程度	39	32.2%
(4) 1～2時間	27	22.3%
(5) 2時間以上	18	14.9%
無回答	1	0.8%
計	121	100.0%



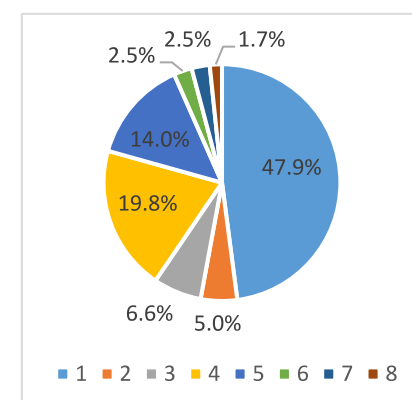
J2-6 問16) J-1で1と答えた方運動・スポーツを行う理由

	回答数	構成比
(1) 健康維持・体力向上	93	32.7%
(2) 運動不足解消	56	19.7%
(3) ストレス解消	35	12.3%
(4) 友人・仲間との交流	27	9.5%
(5) 家族とのふれあい	9	3.2%
(6) 体を動かす楽しみ	21	7.4%
(7) 生活の充実	7	2.5%
(8) 美容や肥満の解消	25	8.8%
(9) 自己記録や技能向上	8	2.8%
(10) その他	3	1.1%
無回答	0	0.0%
計	284	100.0%



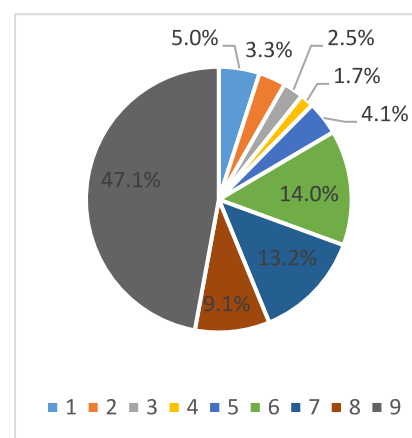
J2-8 問17) 主にどなたと一緒に運動・スポーツをする？

	回答数	構成比
(1) 一人	58	47.9%
(2) 職場や学校の仲間	6	5.0%
(3) クラブ・サークル仲間	8	6.6%
(4) 友人・知人	24	19.8%
(5) 家族	17	14.0%
(6) 近所の方たち	3	2.5%
(7) その他	3	2.5%
無回答	2	1.7%
計	121	100.0%



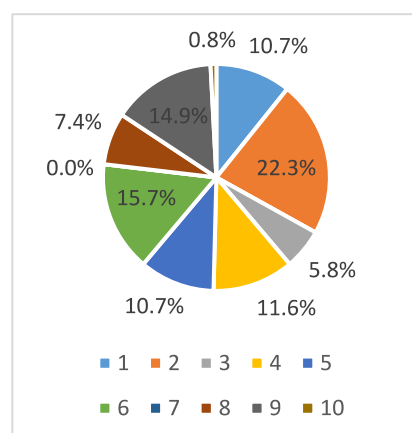
J2-9 問18) よく運動・スポーツを行う曜日

	回答数	構成比
(1) 月曜日	6	5.0%
(2) 火曜日	4	3.3%
(3) 水曜日	3	2.5%
(4) 木曜日	2	1.7%
(5) 金曜日	5	4.1%
(6) 平日毎日	17	14.0%
(7) 土曜日	16	13.2%
(8) 日曜日・祝日	11	9.1%
(9) 決まっていない	57	47.1%
無回答	0	0.0%
計	121	100.0%



J2-10 問19) よく運動・スポーツを行う時間帯

	回答数	構成比
(1) 早朝 (夜明け～8時頃)	13	10.7%
(2) 午前 (8時～12時頃)	27	22.3%
(3) 昼 (12時～13時頃)	7	5.8%
(4) 午後 (13時～17時頃)	14	11.6%
(5) 夕方 (17時～19時頃)	13	10.7%
(6) 夜 (19時～22時頃)	19	15.7%
(7) 深夜 (22時以降)	0	0.0%
(8) 日曜日・祝日	9	7.4%
(9) 決まっていない	18	14.9%
無回答	1	0.8%
計	121	100.0%

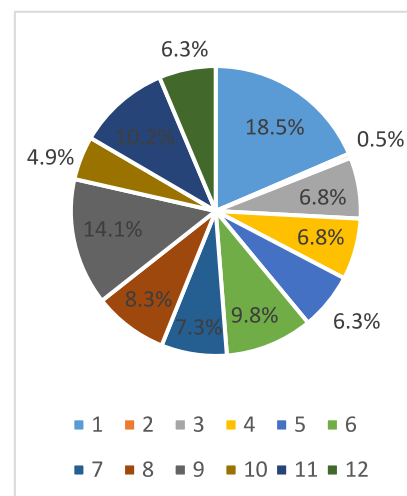


J3-1 問20)J-1で2と答えた方 運動・スポーツを行わなかった理由

	回答数	構成比
無回答	123	100.0%
計	123	100.0%

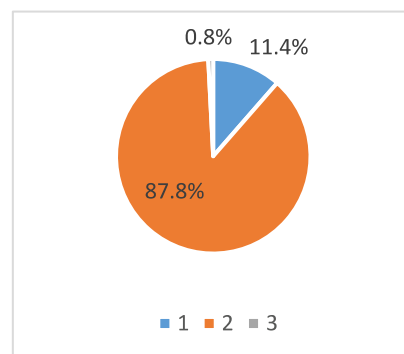
J3-2 J-1で2と答えた方 運動・スポーツを行わなかった理由(2つまで)

	回答数	構成比
(1) 仕事が忙しい	38	18.5%
(2) 指導者がいない	1	0.5%
(3) 場所や施設がない	14	6.8%
(4) 子どもに手がかかる	14	6.8%
(5) お金に余裕がない	13	6.3%
(6) 年をとった	20	9.8%
(7) 病気やけがをしている	15	7.3%
(8) 運動・スポーツが嫌い	17	8.3%
(9) 面倒だから	29	14.1%
(10) それ以上に大事なことがある	10	4.9%
(11) 生活や仕事で体を動かしているから	21	10.2%
(12) 仲間がいない	13	6.3%
無回答	0	0.0%
計	205	100.0%



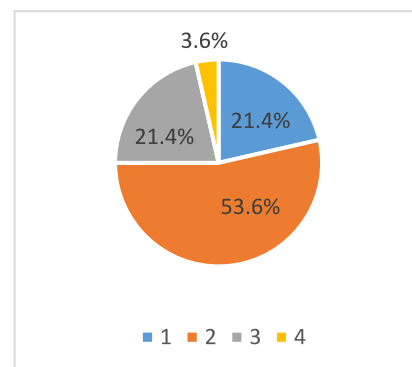
K-1 問21)現在、運動サークルやスポーツクラブに入っていますか？

	回答数	構成比
(1) 加入している	28	11.4%
(2) 加入していない	215	87.8%
無回答	2	0.8%
計	245	100.0%



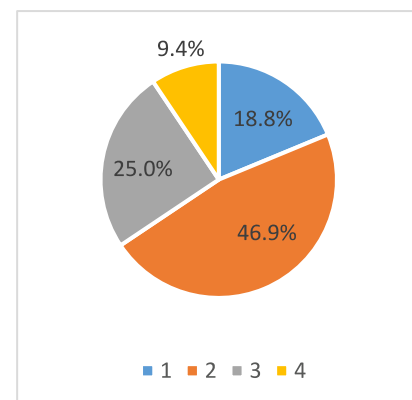
K2-2 K-1で1と答えた方 所属している運動サークルやスポーツクラブはあるか？ (4つまで)

	回答数	構成比
(1) 職場や学校の運動部又はスポーツサークル	6	21.4%
(2) 地域のスポーツチームや同好会	15	53.6%
(3) 民間のスポーツクラブ	6	21.4%
(4) その他	1	3.6%
無回答	0	0.0%
計	28	100.0%



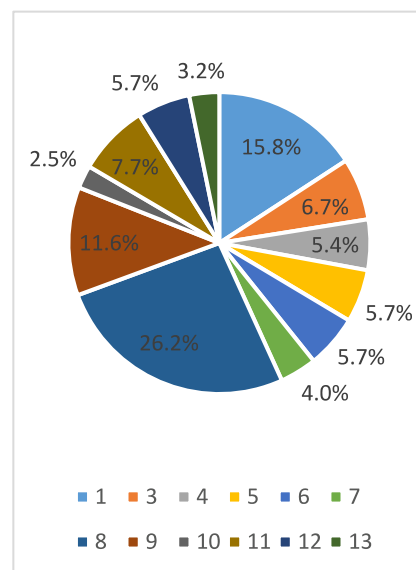
K2-2 K-1で1と答えた方 所属している運動サークルやスポーツクラブはあるか？ (4つまで)

	回答数	構成比
(1) 職場や学校の運動部又はスポーツサークル	6	18.8%
(2) 地域のスポーツチームや同好会	15	46.9%
(3) 民間のスポーツクラブ	8	25.0%
(4) その他	3	9.4%
無回答	0	0.0%
計	32	100.0%



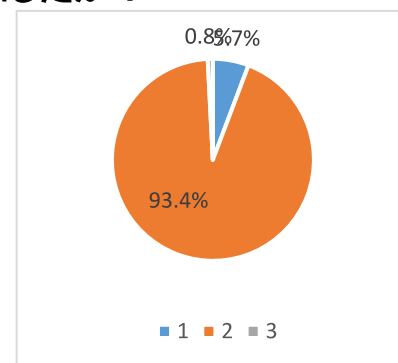
K3-2 K-1で2と答えた方 運動サークルやスポーツクラブに入らない理由(2つまで)

	回答数	構成比
(1) 仕事が忙しい	64	15.8%
(2) 指導者が合わない	0	0.0%
(3) 仲間がいない	27	6.7%
(4) 子どもに手がかかる	22	5.4%
(5) お金に余裕がない	23	5.7%
(6) 年をとった	23	5.7%
(7) 病気やけがをしている	16	4.0%
(8) 運動・スポーツが嫌い	106	26.2%
(9) 面倒だから	47	11.6%
(10) それ以上に大事なことがある	10	2.5%
(11) 生活や仕事で体を動かしているから	31	7.7%
(12) 入りたいサークル・クラブがない	23	5.7%
(13) その他	13	3.2%
無回答	0	0.0%
計	405	100.0%



L-1 問25)この1年間に伊豆主催のスポーツイベントに参加したか？

	回答数	構成比
(1) 参加した	14	5.7%
(2) 参加していない	228	93.4%
無回答	2	0.8%
計	244	100.0%

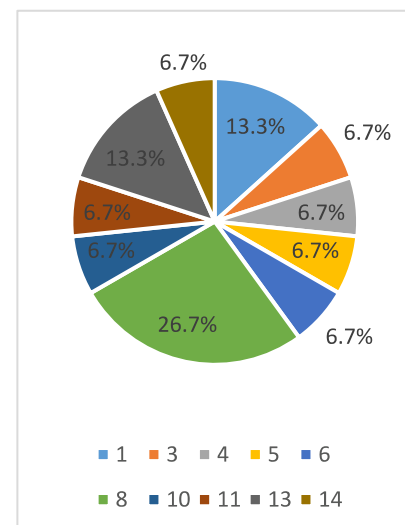


L2-1 問26)L-1で1と答えた方 参加したスポーツイベントについて

	回答数	構成比
無回答	14	100.0%
計	14	100.0%

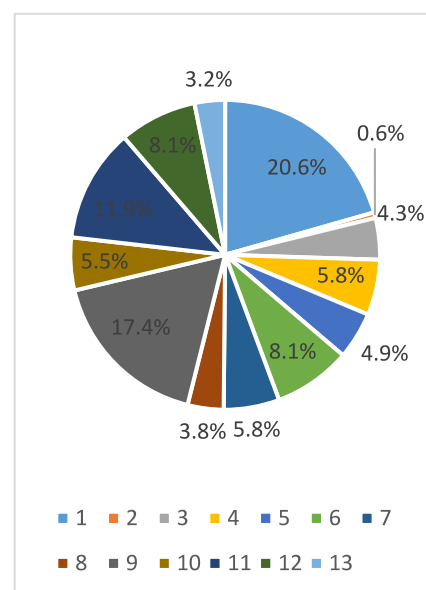
L2-2 L-1で1と答えた方 参加したスポーツイベントは？(参加したものすべて:カウント5つまで)

	回答数	構成比
(1) 春のウォークラリー	2	13.3%
(2) 軽スポーツ教室	0	0.0%
(3) 運動能力向上委員会	1	6.7%
(4) グラウンドゴルフ大会	1	6.7%
(5) 地区対抗男女バレーボール大会	1	6.7%
(6) 地区対抗ソフトボール大会	1	6.7%
(7) 伊豆市駅伝大会	0	0.0%
(8) ハイキング	4	26.7%
(9) みんなの運動会	0	0.0%
(10) 桜マラソン	1	6.7%
(11) 大人のスポーツテスト	1	6.7%
(12) スポーツ推進委員の出前教室	0	0.0%
(13) その他	2	13.3%
無回答	1	6.7%
計	15	100.0%



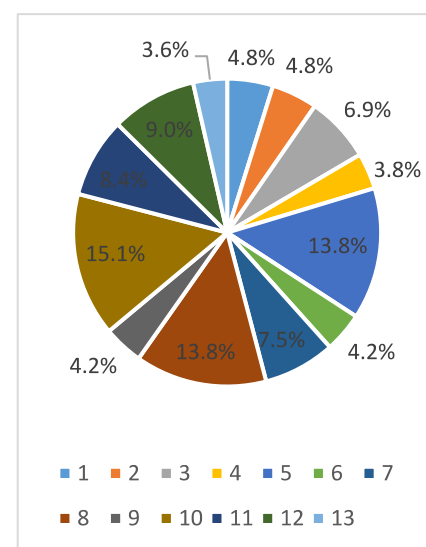
L3-2 L-1で2と答えた方 スポーツイベントに参加しない理由(2つまで)

	回答数	構成比
(1) 仕事が忙しい	71	20.6%
(2) 指導者がいない	2	0.6%
(3) 場所や施設がない	15	4.3%
(4) 子どもに手がかかる	20	5.8%
(5) お金に余裕がない	17	4.9%
(6) 年をとった	28	8.1%
(7) 病気やけがをしている	20	5.8%
(8) 運動・スポーツが嫌い	13	3.8%
(9) 面倒だから	60	17.4%
(10) それ以上に大事なことがある	19	5.5%
(11) 生活や仕事で体を動かしているから	41	11.9%
(12) 仲間がいない	28	8.1%
無回答	11	3.2%
計	345	100.0%



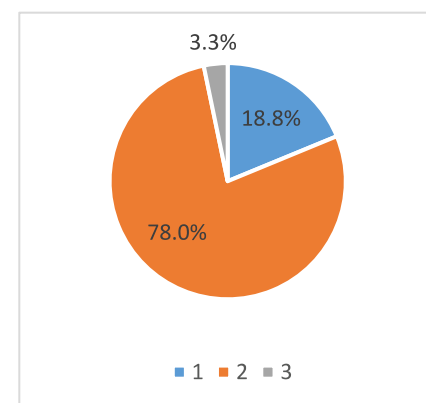
M-1 問28) 今後参加してみたいスポーツイベント(いくつでも:カウントは5つまで)

	回答数	構成比
(1) 勝敗を決める大会	23	4.8%
(2) 勝敗を決めない大会	23	4.8%
(3) 多くの種目ができるイベント	33	6.9%
(4) 1つの種目を極める教室	18	3.8%
(5) 初心者対象の教室	66	13.8%
(6) 著名人によるセミナー	20	4.2%
(7) 親子で参加できる講座	36	7.5%
(8) 競技力向上のための教室	66	13.8%
(9) 世代間の交流イベント	20	4.2%
(10) 体力・運動能力向上講座	72	15.1%
(11) スポーツ×健康セミナー	40	8.4%
(12) スポーツ×観光イベント	43	9.0%
(13) その他	17	3.6%
無回答	0	0.0%
計	477	100.0%



N-1 問29) この1年間で、スポーツを現地で観戦した？

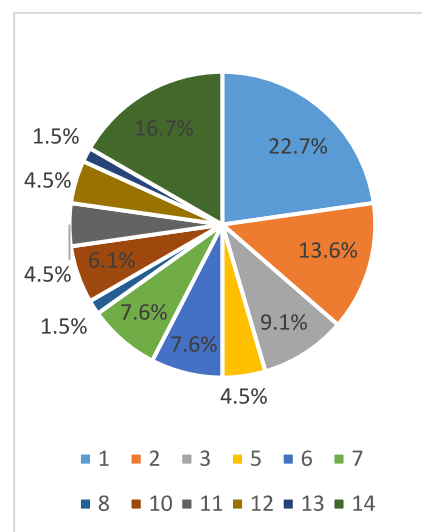
	回答数	構成比
(1) 観戦した	46	18.8%
(2) 観戦していない	191	78.0%
無回答	8	3.3%
計	245	100.0%



N2-2 N-1で1と答えた方

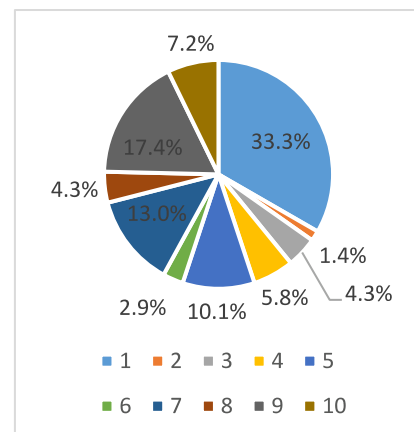
観戦したスポーツは？(いくつでも:カウントは5つまで)

	回答数	構成比
(1) プロ野球	15	22.7%
(2) 高校野球	9	13.6%
(3) プロサッカー	6	9.1%
(4) 高校サッカー	0	0.0%
(5) リーグサッカー	3	4.5%
(6) テニス	5	7.6%
(7) マラソン・駅伝	5	7.6%
(8) ゴルフ	1	1.5%
(9) 大相撲	0	0.0%
(10) バスケットボール	4	6.1%
(11) 体操・新体操	3	4.5%
(12) バレーボール	3	4.5%
(13) 全くみていない	1	1.5%
(14) その他	11	16.7%
無回答	0	0.0%
計	66	100.0%



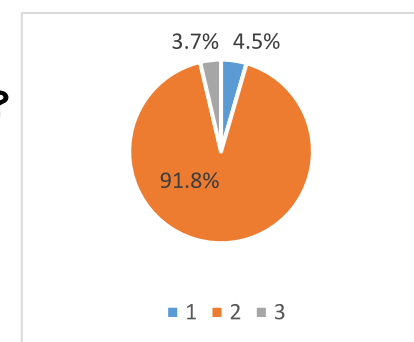
N2-3 問31)N-1で1と答えた方観戦した理由について

	回答数	構成比
(1) そのスポーツが好きだから	23	33.3%
(2) ストレス発散	1	1.4%
(3) 暇つぶし、なんとなく	3	4.3%
(4) そのスポーツを行っているから	4	5.8%
(5) 友人や家族に誘われた	7	10.1%
(6) チケットがあった	2	2.9%
(7) 応援しているチームだから	9	13.0%
(8) 応援している選手がいる	3	4.3%
(9) 家族・友人が出場	12	17.4%
(10) その他	5	7.2%
無回答	0	0.0%
計	69	100.0%



O-1 問32)この1年間に、スポーツを支える側で活動した？

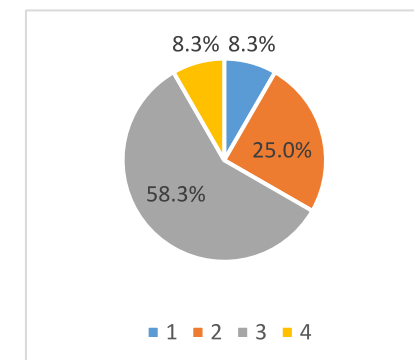
	回答数	構成比
(1) ある	11	4.5%
(2) ない	225	91.8%
無回答	9	3.7%
計	245	100.0%



O2-2 O-1で1と答えた方

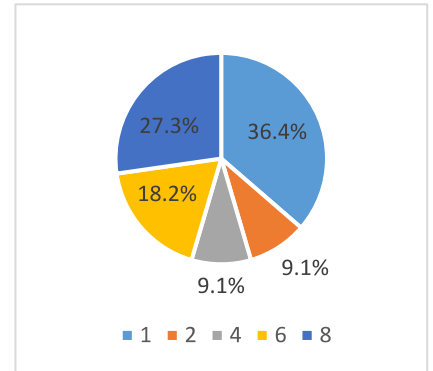
それはどのような活動？(4つまで)

	回答数	構成比
(1) スポーツボランティア	1	8.3%
(2) スポーツ団体の運営	3	25.0%
(3) 指導者として活動	7	58.3%
(4) その他	1	8.3%
無回答	0	0.0%
計	12	100.0%



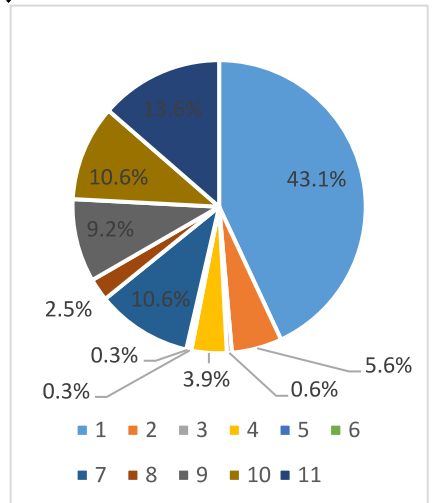
02-4 0-1で1と答えた方参加のきっかけは？(3つまで)

	回答数	構成比
(1) 好きなスポーツの普及	4	36.4%
(2) 大会運営のスキル習得、活用	1	9.1%
(3) 出会い・交流の場	0	0.0%
(4) 地域での居場所、役割	1	9.1%
(5) 社会貢献	0	0.0%
(6) 家族、友人が参加しているから	2	18.2%
(7) わからない	0	0.0%
(8) その他	3	27.3%
無回答	0	0.0%
計	11	100.0%



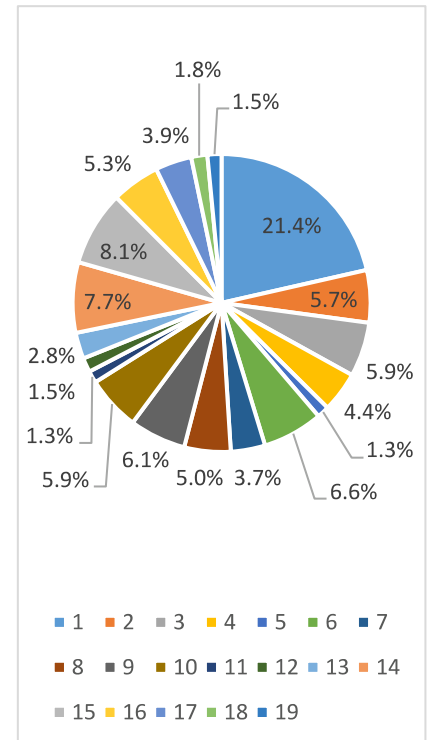
P-1 問35)地域のスポーツ情報の入手方法は？(2つまで)

	回答数	構成比
(1) 広報いず	155	43.1%
(2) 市ホームページ	20	5.6%
(3) 市公式Facebook	2	0.6%
(4) 市公式LINE	14	3.9%
(5) 市公式Twitter	1	0.3%
(6) 市公式Instagram	1	0.3%
(7) 市情報メール	38	10.6%
(8) FMIS (ラジオ)	9	2.5%
(9) チラシ・パンフレット	33	9.2%
(10) 所属クラブ、団体を通じて	38	10.6%
(11) 家族、友人、近所との会話	49	13.6%
無回答	0	0.0%
計	360	100.0%



Q-1 問36)スポーツの普及・推進に関して、特に市に望むものは？(3つまで)

	回答数	構成比
(1) 施設・設備の充実	98	21.4%
(2) 幼少期の運動機会の創出	26	5.7%
(3) 小学生の運動能力向上機会創出	27	5.9%
(4) 中学部活動の充実	20	4.4%
(5) 10～20代のスポーツ教室	6	1.3%
(6) 親子で参加できる教室	30	6.6%
(7) 働き盛り対象の教室	17	3.7%
(8) スポーツ初心者対象の教室	23	5.0%
(9) 幅広い世代対象の教室	28	6.1%
(10) 高齢者対象の教室	27	5.9%
(11) 障がい者の方の教室	6	1.3%
(12) スポーツボランティア育成・支援	7	1.5%
(13) 各種スポーツ大会	13	2.8%
(14) スポーツ×健康セミナー	35	7.7%
(15) スポーツ×観光イベント	37	8.1%
(16) スポーツ観戦事業の充実	24	5.3%
(17) スポーツ情報発信の充実	18	3.9%
(18) スポーツ指導者の育成	8	1.8%
(19) その他	7	1.5%
無回答	0	0.0%
計	457	100.0%



※その他、ご意見・ご要望は多数のため省略いたします

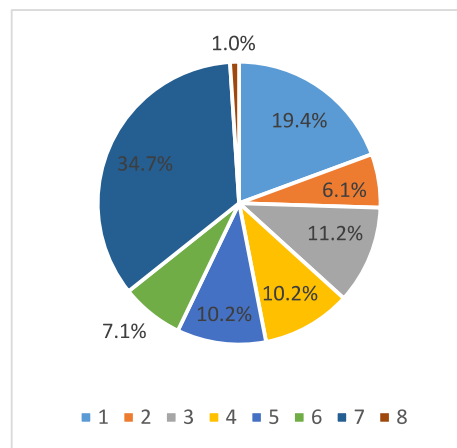
「障がい者スポーツ活動に関するアンケート」集計表

【概要】

- (1) 名称 令和5年度 伊豆市障がい者のスポーツ活動に関するアンケート調査
 (2) 目的 スポーツに関する状況、ニーズを反映するため。
 (3) 期間・対象
 【期 間】 9月1日～9月15日
 【対象者】 市内の就労支援施設に通所する障がい者の方
 (4) 方法 就労支援施設に調査票を配布し、回答を依頼。回答〆切（9月15日（金））
 後、各施設から回収・集計
 (5) 回答率 98人／全施設利用者合計 135人（回答率73%）

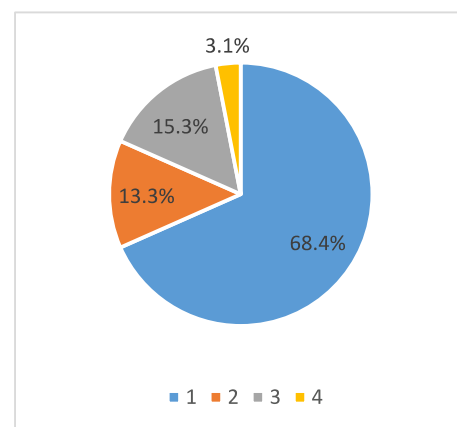
A-1 施設名

	回答数	構成比
(1) かざぐるま	19	19.4%
(2) 陽だまり	6	6.1%
(3) あゆみ	11	11.2%
(4) 田方ゆめワーク	10	10.2%
(5) YES	10	10.2%
(6) えーる	7	7.1%
(7) プラム	34	34.7%
無回答	1	1.0%
計	98	100.0%



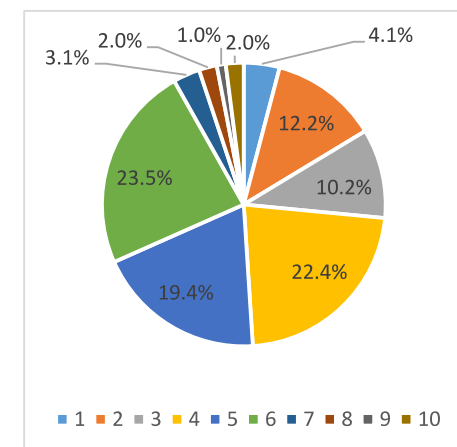
A-2 回答用紙への記入方法

	回答数	構成比
(1) 本人が自分で記入	67	68.4%
(2) 本人回答、他の人が記入	13	13.3%
(3) 本人以外が回答	15	15.3%
無回答	3	3.1%
計	98	100.0%



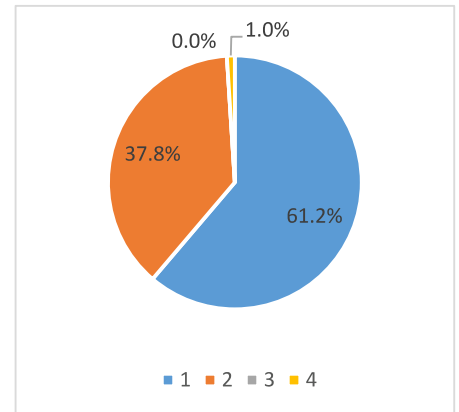
A-3 年齢

	回答数	構成比
(1) 10代	4	4.1%
(2) 20代	12	12.2%
(3) 30代	10	10.2%
(4) 40代	22	22.4%
(5) 50代	19	19.4%
(6) 60代	23	23.5%
(7) 70代	3	3.1%
(8) 80代	2	2.0%
(9) 90代	1	1.0%
無回答	2	2.0%
計	98	100.0%



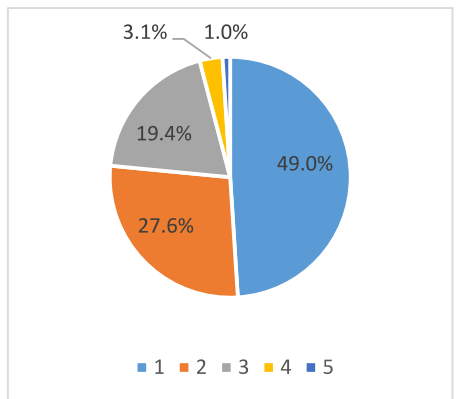
A-4 性別

	回答数	構成比
(1) 男性	60	61.2%
(2) 女性	37	37.8%
(3) その他	0	0.0%
無回答	1	1.0%
計	98	100.0%



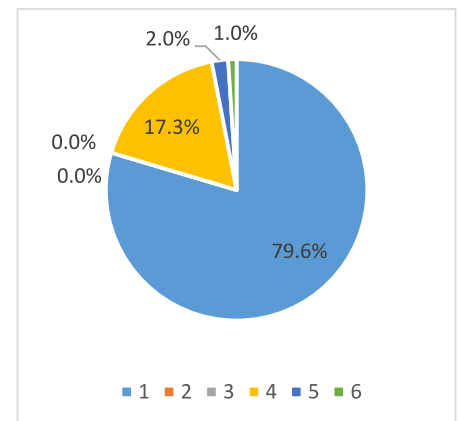
A-5 住まいの地区

	回答数	構成比
(1) 修善寺地区	48	49.0%
(2) 中伊豆地区	27	27.6%
(3) 天城湯ヶ島地区	19	19.4%
(4) 土肥地区	3	3.1%
無回答	1	1.0%
計	98	100.0%



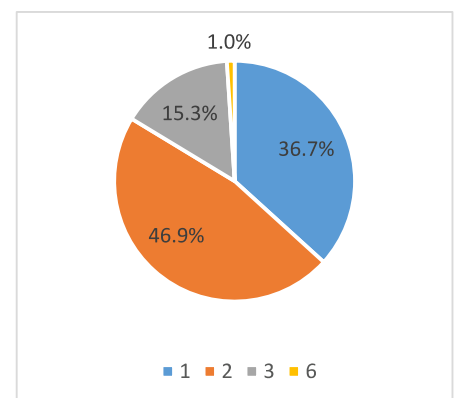
A-6 現在、住んでいるところ

	回答数	構成比
(1) 自宅	78	79.6%
(2) 病院に入院中	0	0.0%
(3) 施設に入所中	0	0.0%
(4) グループホームなど（共同生活できる場所）	17	17.3%
(5) その他	2	2.0%
無回答	1	1.0%
計	98	100.0%



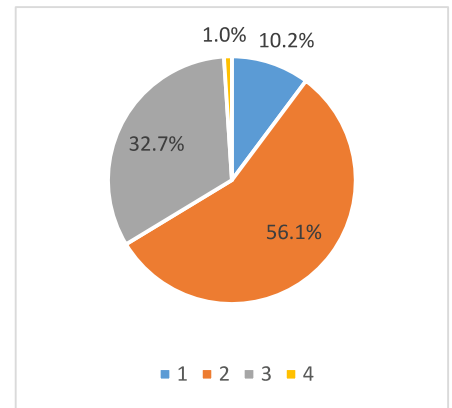
A-7 あなたの健康状態は？

	回答数	構成比
(1) 健康である	36	36.7%
(2) まあ健康である	46	46.9%
(3) あまり健康でない	15	15.3%
(4) 健康でない	0	0.0%
(5) その他	0	0.0%
無回答	1	1.0%
計	98	100.0%



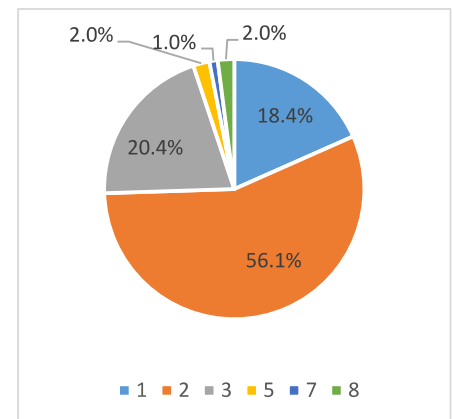
A-8 あなたの体力について

	回答数	構成比
(1) 自信がある	10	10.2%
(2) 普通である	55	56.1%
(3) 不安がある	32	32.7%
無回答	1	1.0%
計	98	100.0%



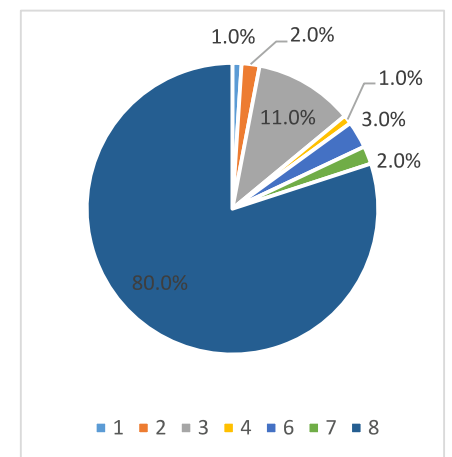
B-1 お持ちの各種障害者手帳や障がいについて

	回答数	構成比
(1) 身体障害者手帳	18	18.4%
(2) 療育手帳	55	56.1%
(3) 精神障害者保健福祉手帳	20	20.4%
(4) 難病	0	0.0%
(5) 高次脳機能障がい	2	2.0%
(6) 発達障がい	0	0.0%
(7) その他	1	1.0%
無回答	2	2.0%
計	98	100.0%



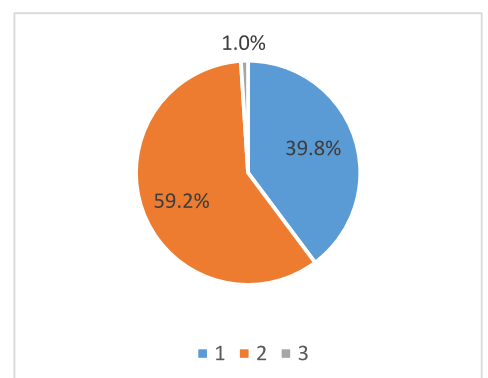
B2-1 B-1で「身体障害者手帳」と回答した方

	回答数	構成比
(1) 聴力・平衡機能障害	1	1.0%
(2) 内部障害	2	2.0%
(3) 肢体不自由	11	11.0%
(4) 音声・言語・そしゃく機能障害	1	1.0%
(5) 視覚障害	0	0.0%
(6) 精神障害	3	3.0%
(7) 知的障害	2	2.0%
無回答	80	80.0%
計	100	100.0%



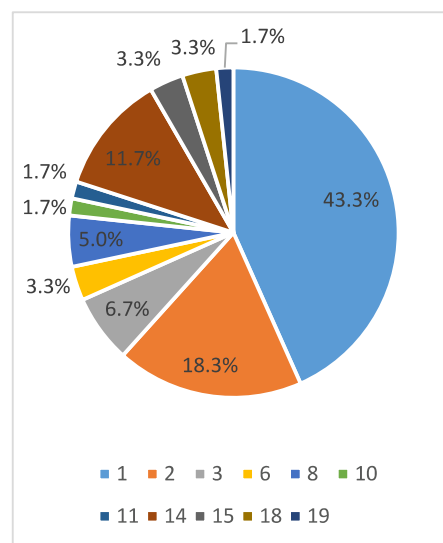
C-1 この1年間に運動・スポーツをしましたか？

	回答数	構成比
(1) した	39	39.8%
(2) しない	58	59.2%
無回答	1	1.0%
計	98	100.0%



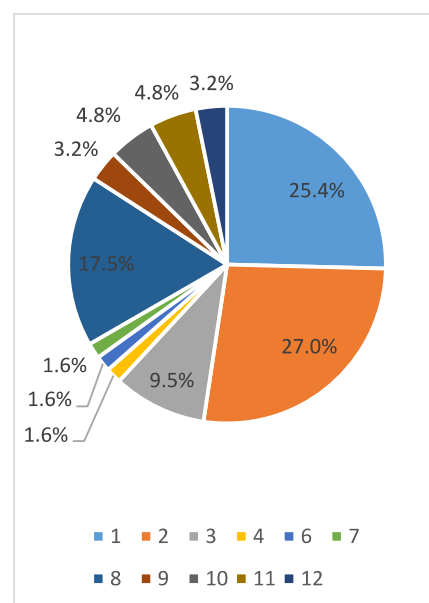
C2-1 C-1で「した」と答えた方 この1年間に行ったスポーツは？(3つまで)

	回答数	構成比
(1) ウォーキング	26	43.3%
(2) 体操	11	18.3%
(3) 室内運動器具	4	6.7%
(4) 陸上競技	0	0.0%
(5) 水泳・競泳	0	0.0%
(6) 球技	2	3.3%
(7) 武道	0	0.0%
(8) ダンス	3	5.0%
(9) 格闘技	0	0.0%
(10) サイクリング	1	1.7%
(11) テニス	1	1.7%
(12) サッカー	0	0.0%
(13) 卓球	0	0.0%
(14) ボッチャ	7	11.7%
(15) モルック	2	3.3%
(16) グラウンドゴルフ	0	0.0%
(17) e スポーツ	0	0.0%
(18) その他	2	3.3%
無回答	1	1.7%
計	60	100.0%



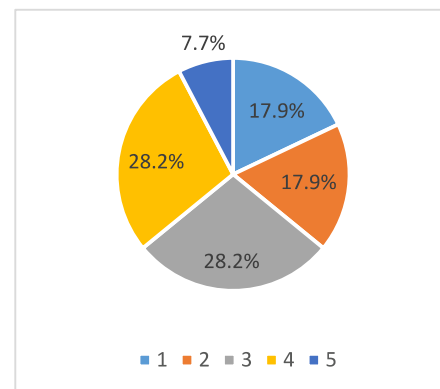
C2-2 この1年間に運動やスポーツを行った場所(3つまで)

	回答数	構成比
(1) 自宅	16	25.4%
(2) 道路や遊歩道	17	27.0%
(3) 広場や公園	6	9.5%
(4) 民間のスポーツ施設	1	1.6%
(5) 公共のスポーツ施設 (障害者専用施設)	0	0.0%
(6) 公共のスポーツ施設 (障害者専用施設以外)	1	1.6%
(7) 職場のスポーツ施設	1	1.6%
(8) 福祉施設	11	17.5%
(9) 医療機関	2	3.2%
(10) 山・川・海	3	4.8%
(11) その他	3	4.8%
(12) 分からない	2	3.2%
無回答	0	0.0%
計	63	100.0%



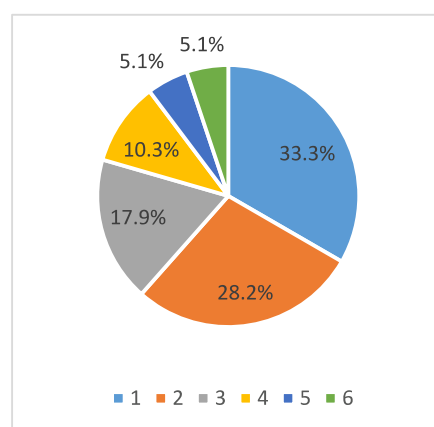
C2-3 運動・スポーツを行う回数

	回答数	構成比
(1) ほぼ毎日	7	17.9%
(2) 週に3～5日	7	17.9%
(3) 週に1～2回	11	28.2%
(4) 月に1～3回	11	28.2%
無回答	3	7.7%
計	39	100.0%



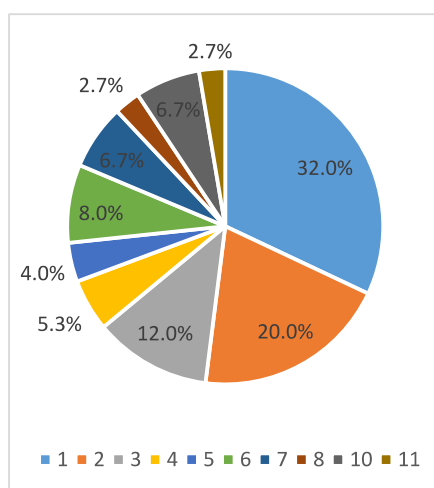
C2-4 1回に行う運動・スポーツの平均時間

	回答数	構成比
(1) 15分くらい	13	33.3%
(2) 15～30分くらい	11	28.2%
(3) 30分～1時間くらい	7	17.9%
(4) 1～2時間くらい	4	10.3%
(5) 2時間以上	2	5.1%
無回答	2	5.1%
計	39	100.0%



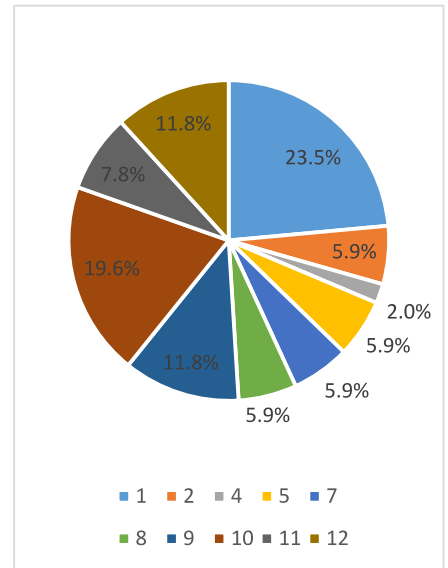
C2-5 運動・スポーツを行う理由(3つまで)

	回答数	構成比
(1) 健康維持・体力向上	24	32.0%
(2) 運動不足解消	15	20.0%
(3) ストレス解消	9	12.0%
(4) 友人・仲間との交流	4	5.3%
(5) 家族とのふれあい	3	4.0%
(6) 体を動かす楽しみ	6	8.0%
(7) リハビリ・治療	5	6.7%
(8) 美容や肥満の解消	2	2.7%
(9) 自己記録や技能向上	0	0.0%
(10) その他	5	6.7%
無回答	2	2.7%
計	75	100.0%



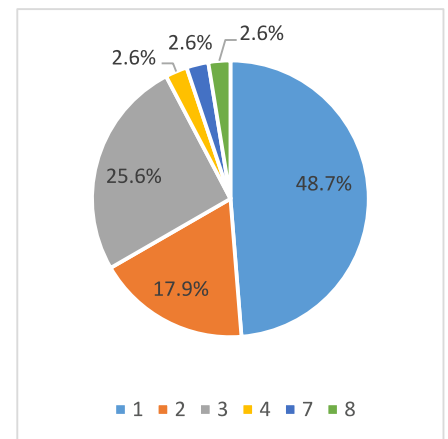
C2-6 スポーツ情報の入手方法(2つまで)

	回答数	構成比
(1) 広報いず	12	23.5%
(2) インターネット	3	5.9%
(3) SNS (ツイッター・フェイスブック)	0	0.0%
(4) 市からのメール	1	2.0%
(5) 障がい者団体の会合等	3	5.9%
(6) ボランティア・ヘルパーなどの支援者	0	0.0%
(7) テレビやラジオ	3	5.9%
(8) 新聞	3	5.9%
(9) チラシ・パンフレット	6	11.8%
(10) 家族・友人	10	19.6%
(11) その他	4	7.8%
無回答	6	11.8%
計	51	100.0%



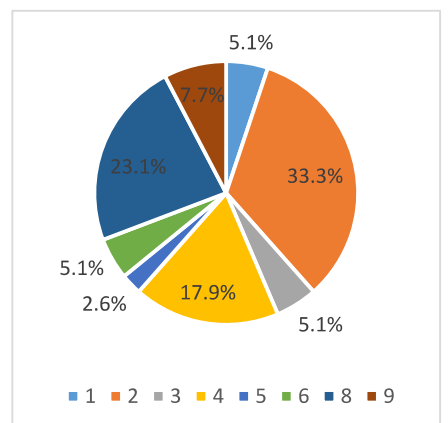
C2-7 主にどなたと一緒に運動・スポーツをする？

	回答数	構成比
(1) 一人	19	48.7%
(2) 家族	7	17.9%
(3) 福祉施設の職員・仲間	10	25.6%
(4) 友人・知人	1	2.6%
(5) スポーツ教室の指導者・仲間	0	0.0%
(6) 近所の人	0	0.0%
(7) その他	1	2.6%
無回答	1	2.6%
計	39	100.0%



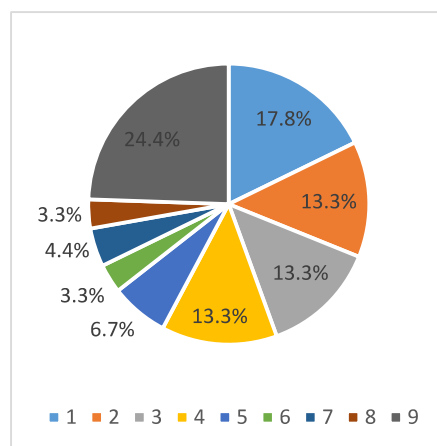
C2-8 よく運動・スポーツを行う時間帯

	回答数	構成比
(1) 早朝 (夜明け～8時頃)	2	5.1%
(2) 午前 (8時～12時頃)	13	33.3%
(3) 昼 (12時～13時頃)	2	5.1%
(4) 午後 (13時～17時頃)	7	17.9%
(5) 夕方 (17時～19時頃)	1	2.6%
(6) 夜 (19時～22時頃)	2	5.1%
(7) 深夜 (22時以降)	0	0.0%
(8) 決まっていない	9	23.1%
無回答	3	7.7%
計	39	100.0%



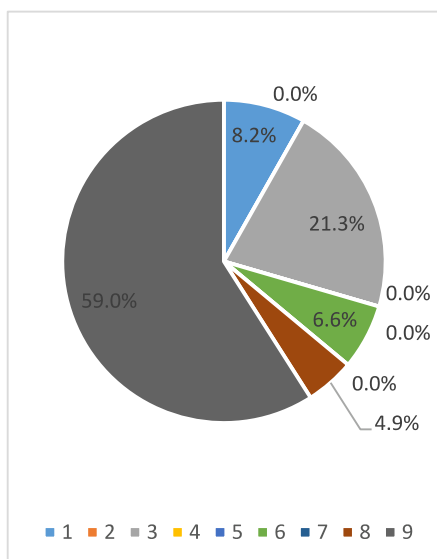
C3-1 C-1で「しない」と答えた方 運動・スポーツを行わなかった理由(2つまで)

	回答数	構成比
(1) 身体的に無理	16	17.8%
(2) 場所がない	12	13.3%
(3) 移動手段がない	12	13.3%
(4) 情報がない	12	13.3%
(5) 一緒に出来る人がいない	6	6.7%
(6) 時間がない	3	3.3%
(7) 競技用具や補助具がない	4	4.4%
(8) その他	3	3.3%
(9) 活動したいと思わない	22	24.4%
無回答	0	0.0%
計	90	100.0%



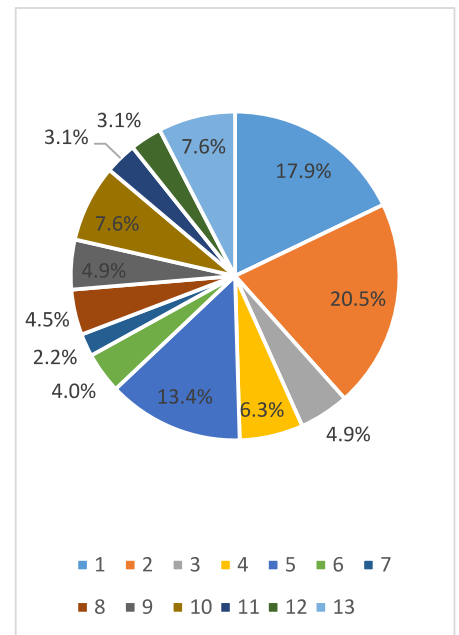
C3-2 C3-1で「活動したいと思わない」と回答した方 活動したいと思わない理由

	回答数	構成比
(1) スポーツ・運動が嫌いだから	5	8.2%
(2) スポーツ以外に興味がないから	0	0.0%
(3) 疲れるから	13	21.3%
(4) 人前に出るのが好きではない	0	0.0%
(5) 苦手意識を持っている	0	0.0%
(6) スポーツ以外に興味がある	4	6.6%
(7) 忙しい	0	0.0%
(8) その他	3	4.9%
無回答	36	59.0%
計	61	100.0%



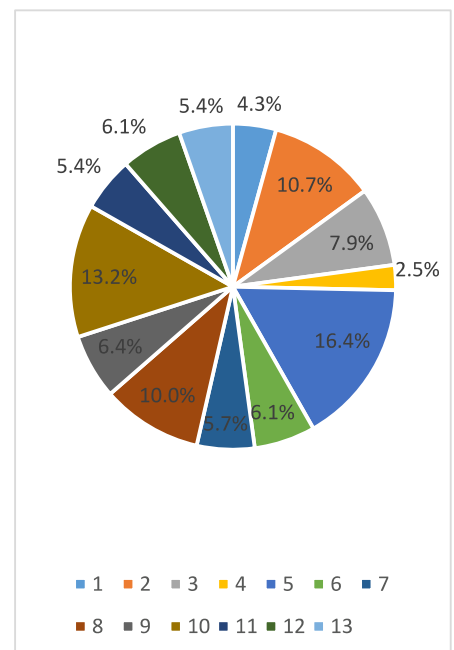
D-1 どのような活動であれば参加したいか？

	回答数	構成比
(1) ルールが簡単	40	17.9%
(2) 自分のペースに合わせられる	46	20.5%
(3) 上達したことがわかる	11	4.9%
(4) 失敗でいても笑われたり恥ずかしい思いをしない	14	6.3%
(5) 好きな種目を選べる	30	13.4%
(6) やったことがないスポーツ	9	4.0%
(7) 汗をかかない	5	2.2%
(8) 有名な選手に会える	10	4.5%
(9) 親子で一緒に参加	11	4.9%
(10) 新しい友達をつくれる	17	7.6%
(11) 芸術・文化的なパフォーマンスも楽しめる	7	3.1%
(12) その他	7	3.1%
無回答	17	7.6%
計	224	100.0%



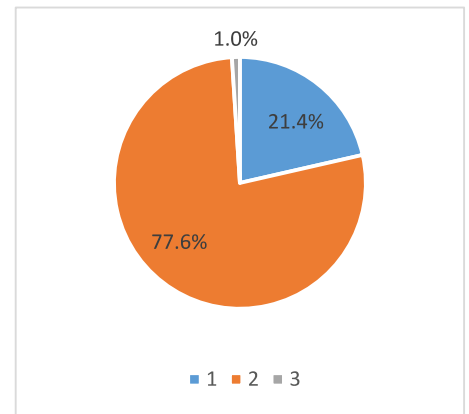
D-2 スポーツ施設への要望(施設について)

	回答数	構成比
(1) 障がい者駐車場の設置	12	4.3%
(2) 段差をなくす、スロープ設置	30	10.7%
(3) 通路や階段への手すり設置	22	7.9%
(4) 案内看板の設置（点字・わかりやすく）	7	2.5%
(5) スタッフのサポート支援の充実	46	16.4%
(6) その他	17	6.1%
(7) 施設開放の促進	16	5.7%
(8) 障がい者に合わせたプログラムの充実	28	10.0%
(9) 情報提供や問合せ方法の工夫	18	6.4%
(10) 会場までの送迎	37	13.2%
(11) 福祉施設等への出前教室の実施	15	5.4%
(12) その他	17	6.1%
無回答	15	5.4%
計	280	100.0%



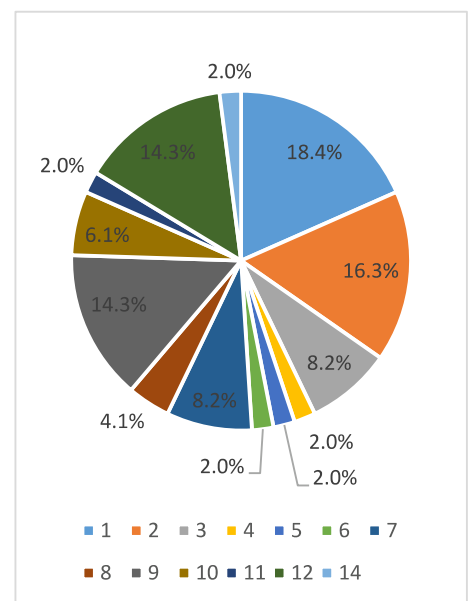
E-1 この1年間で、スポーツを観戦した？

	回答数	構成比
(1) 観戦した	21	21.4%
(2) 観戦していない	76	77.6%
無回答	1	1.0%
計	98	100.0%



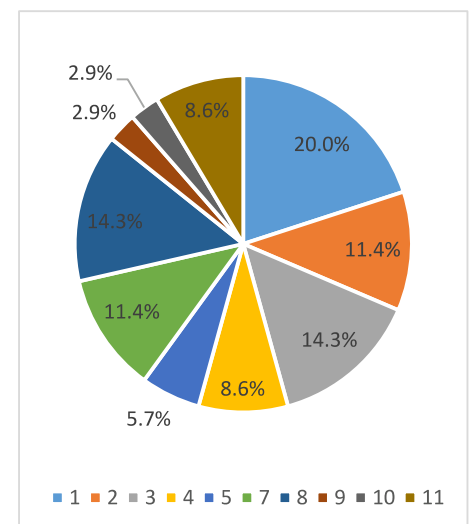
E2-1 E-1で「した」と答えた方観戦状況について

	回答数	構成比
(1) プロ野球	9	18.4%
(2) 高校野球	8	16.3%
(3) プロサッカー	4	8.2%
(4) 高校サッカー	1	2.0%
(5) リーグサッカー	1	2.0%
(6) テニス	1	2.0%
(7) マラソン・駅伝	4	8.2%
(8) ゴルフ	2	4.1%
(9) 大相撲	7	14.3%
(10) バスケットボール	3	6.1%
(11) 体操・新体操	1	2.0%
(12) バレーボール	7	14.3%
(13) 全くみていない	0	0.0%
(14) その他	1	2.0%
無回答	0	0.0%
計	49	100.0%



E2-2 E-1で「した」と答えた方観戦した理由は？(3つまで)

	回答数	構成比
(1) そのスポーツが好きだから	7	20.0%
(2) ストレス発散	4	11.4%
(3) 暇つぶし、なんとなく	5	14.3%
(4) そのスポーツを行っているから	3	8.6%
(5) 友人や家族に誘われた	2	5.7%
(6) チケットがあった	0	0.0%
(7) 応援しているチームだから	4	11.4%
(8) 応援している選手がいる	5	14.3%
(9) 家族・友人が出場	1	2.9%
(10) その他	1	2.9%
無回答	3	8.6%
計	35	100.0%



F1 ご意見、ご要望

	回答数	構成比
(1) 記述有り	24	24.5%
無回答	74	75.5%
計	98	100.0%

- ・伊豆市にスポーツのイベントがありません
- ・公共の施設を増やしてほしい。プール・スポーツジムなど。
- ・定期的に地域の方と一緒にスポーツができればよいと思う。
- ・プールで歩くだけをしたいが、障害があると着替える所が大変だったり、一人でプールに入るのが不安。障がい者の日とか時間を設けてもらい、スタッフがついてサポートしてもらえるといいなと思う。
- ・福祉施設等でスポーツ教室をやってほしい
- ・できるならやりたいです！
- ・これからもたくさんの情報を発信してください。お願いします！
- ・中伊豆でグラウンドゴルフをやりたい。
- ・スポーツ活動できる場所を作してほしい。
- ・中伊豆グラウンドへバスを出してほしい。
- ・本人は障害があるので、何もできないと思っています。でも、そういう場所があれば、何かできることが見つかるかもしれません。多くの方とふれあい人生を楽しく生きていけたら良いなと願っています。(家族)
- ・施設利用にあたっての安い料金設定や施設の無料化。人口減少が進む中でのスタッフの確保や人材育成。これらの意見や他の意見に対する伊豆市の実行力。スポーツ推進について、市は外から人を集めることに注視しているが、インフラが整わず、自転車などは一般交通の妨げになっている。
- ・なかなかスポーツをやる時間がありません。
- ・Dスポーツをしてみたいです。
- ・自分で出向いて行うことがほとんど無いので、場所・競技等を準備提供してほしいです。
- ・誰でも簡単わかりやすいスポーツができたらと思います。安全にウォーキングできるようにしてほしいです。
- ・自分のためだけでもマネをどうかなあ、決してダメとは言わないにしてもながれです。
- ・障害があるので、一人で参加、移動が難しい。また、市内に参加できる運動教室等もない。まったくないのではないかと？三島や沼津など遠くに行かなくてはならない。ぜひ検討していただきたい。
- ・月に何回かスポーツイベントや教室などをやってほしい。
- ・学校に行っていた時は、スポーツの機会がたくさんありましたが、今は個人レベルでの参加となり積極的になることは少なくなりました。自分からやることはできない子なので、親がその気にならないと難しいです。障害のある子だけで参加できるものや家族で気軽に参加できるものがあればやってみたいなとも思っています。
- ・身体が丈夫でないから
- ・いつもお世話になります。ありがとうございます。スポーツの推進は、本人に合ったものの自由参加であればチームワークを学ぶためにもとても良い事だと思います。できない場合は応援も楽しいと思います
- ・年齢関係なく出来ることが良いと思いますが、まず地区単位で始められたらと思います。1日とかではなく、半日にするとか区から始めたらと思います。
- ・中学生時代に卓球を教わったことがあり、近隣に障害者が気軽に利用できる施設を開放してもらえたら、運動不足解消にもなる。

3. 伊豆市スポーツ推進審議会について

○伊豆市スポーツ推進審議会条例

平成 16 年 4 月 1 日条例第 88 号

改正

平成 23 年 9 月 29 日条例第 17 号

伊豆市スポーツ推進審議会条例

(設置)

第 1 条 スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号。以下「法」という。）第 31 条の規定に基づき、伊豆市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、法第 35 条に規定するもののほか、教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

- (1) 法第 10 条第 1 項の地方スポーツ推進計画に関すること。
- (2) スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- (3) スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- (4) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (5) スポーツの団体の育成に関すること。
- (6) スポーツによる事故の防止に関すること。
- (7) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(組織)

第 3 条 審議会は、10 人以内の委員で組織する。

2. 特別の事項を調査審議するために必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

3. 委員及び臨時委員は、非常勤とする。

(任命)

第 4 条 審議会の委員及び臨時委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が市長の意見を聴いて任命する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係行政機関の職員

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長を置く。

2. 会長及び副会長は、委員の互選によってこれを定める。
 3. 会長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。
 4. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- (任期)

第6条 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2. 審議会の委員は、再任されることができる。
 3. 臨時委員は、特別の事項に関する調査審議を終了したときは、退任するものとする。
- (議事)

第7条 審議会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の総数の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

2. 審議会の議事は、委員及び議事に関係のある臨時委員のうち出席した者の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営その他必要な事項については、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年9月29日条例第17号)

(施行期日)

1. この条例は、公布の日から施行する。
- (伊豆市スポーツ推進審議会委員に関する経過措置)
2. この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の伊豆市スポーツ審議会条例第4条の規定により任命されている伊豆市スポーツ振興審議会の委員は、第1条の規定による改正後の伊豆市スポーツ推進審議会条例第4条の規定により任命された伊豆市スポーツ推進審議会の委員とみなす。

伊豆市スポーツ推進審議会委員名簿

(任期: 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

NO	氏 名	所属(職名)等	選出区分
1	井上 博	NPO法人伊豆市スポーツ協会会長	スポーツ協会
2	鈴木 葉子	伊豆市バレーボール協会副理事長・ クラブマネージャー	修善寺地区
3	大木 清司	伊豆市バレーボール協会副会長	土肥地区
4	塩谷 美博	伊豆市スポーツ推進委員長・ 中伊豆美走会代表	スポーツ推進委員会 (中伊豆地区)
5	村田 幸江	伊豆市スポーツ推進委員	スポーツ推進委員会 (天城地区)
6	浅田 道雄	伊豆市スポーツ少年団 加盟団体指導者 (伊豆トレジャーズ:バスケットボール)	伊豆市スポーツ少年団
7	豊田 秀一	伊豆市スポーツ少年団 加盟団体指導者 (SAN 1a IZU FC:サッカー) (修善寺ドリームランニングクラブ:陸上)	伊豆市スポーツ少年団
8	福室 昌朋	伊豆市健康長寿課長	健康長寿課長
9	鈴木 利明	伊豆市社会教育課長	社会教育課長

第2次伊豆市スポーツ推進計画
～スポーツと健康のまち伊豆を目指して～
(令和6年3月策定)

〔編集〕伊豆市教育委員会社会教育課
〒410-2592 静岡県伊豆市八幡 500-1
Tel. 0558-83-5477 Fax 0558-83-5498
URL <http://www.city.izu.shizuoka.jp>